

別紙2 工学部社会連携活動リスト 2014. 3

I. 地域社会や産業との連携活動

担当者は、進行中活動は現在の肩書き。終了活動は終了時の肩書きです。

活動名・事業名	区分	活動や事業の概要	工学部の学科名	担当者	URL	年度
千葉における研究拠点づくり						
「千葉地域市民学会」の設立を通じた地域連携活動の推進	総合的地域研究	千葉地域の様々な課題を検討するために、市民、大学、行政、企業などが集い研究及び実践活動をする「千葉地域市民学会」が平成20年6月に設立され活動している。千葉大においても多くの教員が参加し、地域連携活動の一翼を担っている。	全学	宮崎清 名誉教授 鈴木雅之 助教 他多数	http://caoca.org/index.html	20年度-進行中
千葉県加工技術研究会の開催	産業振興地域研究	千葉県内の産官学の研究者が集まり、講演会や研究事例発表会、見学会等を開催している。	機械	森田 昇 教授 他		9年度-進行中
千葉学研究フォーラムの開催	総合的地域研究	建築学科が中心となり、千葉における研究教育活動を促進・普及・啓発するため、市民公開型の研究フォーラムを開催している。大学内外の講師を招き平成20年5月で35回目を開催。学生・教職員だけでなく、市民や専門家も参加している。	建築 都市環境システム	福川裕一 教授 安藤正雄 教授	http://www.archi.ta.chiba-u.jp/chibagaku/main.htm	15年度-進行中
千葉地域再生構想研究会・千葉県すまいづくり協議会の活動	総合的地域研究	千葉県、千葉市、都市再生機構、NPOちば地域再生リサーチとともに地域研究会を設け、海浜ニュータウンその他地域の再生の構想を検討している。平成20年度からは、千葉県全域を対象として、「千葉県すまいづくり協議会」の設立に発展している。	建築 都市環境システム キャンパス整備企画室	服部峯生 名誉教授 上野武 教授 鈴木雅之 助教 小林秀樹 教授		17年度-進行中
ヨウ素学会の運営とシンポジウムの開催	産業振興地域研究	千葉県が世界の主要産出地であるヨウ素の有効利用、応用分野開拓、基礎的・学術的研究を振興するため、招待講演・一般講演・ポスター発表によるシンポジウムを開催している。千葉県内の多くの企業が参画し、全国から研究者・企業が集まり活発な討論を行っている。	共生応用	松本祥治 准教授	http://fiu-iodine.org/	20年度-進行中
特色ある千葉のまちづくり活動(都市部)						
「栄町楽市バザール」の企画・実施	地域づくり	千葉市栄町の再生をはかるまちづくり社会実験の事業提案に応募、最優秀賞に選ばれ、再生事業の企画・実施を行っている。千葉市、栄町まちづくり社会実験推進協議会と連携。	都市環境システム	北原理雄 教授 郭 東潤 助教	http://urbanlab.tu.chiba-u.ac.jp/	19年度-20年度
蘇我の街づくりに関する研究(JFE)	総合的地域研究	蘇我の街づくりに関する研究を実施し、成果を公開する。JFEスチールの支援を受けて実施している。園芸研究科・看護学研究科と共同で実施	建築 都市環境システム	安藤正雄 教授 北原理雄 教授		18年度-20年度
幕張インターナショナルスクールロゴマーク提案	地域づくり	平成21年4月開校・幕張インターナショナルスクールのロゴマークの作成を行っている。	デザイン	植田憲 准教授		20年度
成田市における潜在的な地域資源の利活用に基づく地域づくり	地域づくり	成田市における潜在的な地域資源の利活用に基づく地域づくり	デザイン	植田憲 准教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	20年度
流山市オープンガーデン散策会サインの提案	地域づくり	都心に近く、自然環境・景観に優れた流山の魅力を再発見し、「魅力ある流山」を発信する活動の一環として、住民参加によるオープンガーデン・サインの提案を行い、実行した。	デザイン	佐藤公信 准教授		21年度
市民をはじめとする多様な主体の参画による中心市街地内未利用公有地の有効活用について	共同研究・地域づくり	千葉市・大学等共同研究事業に応募し採用された。未利用公有地である弁天地区を対象事例として、市民生活の質の向上を目指した公的資源の有効活用について、ステークホルダーと行政が一体となって考え、計画し、運用するための方法論を検討。	都市環境システム	森永良丙 准教授	http://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/kikaku/daigakurenkei.html	22年度
千葉都市モノレール駅のユニバーサルデザインワークショップの実施	共同研究・地域づくり	千葉都市モノレール駅を対象に住民と学生によるユニバーサルデザインの考え方に基いたワークショップを開催し、地域公共交通の問題を討議した。	デザイン	佐藤公信 教授		23年度
パラソルギャラリー	地域づくり	魅力ある都市景観形成と都市の賑わい生成のため、JR千葉駅前通りの街路空間をアートギャラリーとしてデザインし、市民の作品を展示する。市民連携型のパラソルギャラリー実行委員会と協力して実施している。一般市民を対象として、毎回100人程度が参加。	都市環境システム	北原理雄 名誉教授 郭 東潤 助教	http://urbanlab.tu.chiba-u.ac.jp/	12年度-進行中
「穴川るつぽ計画」の実践活動	地域づくり	地域の商店街や住民と大学の協働による千葉市穴川地区の地域活性化プロジェクトである。穴川町内会及び穴川商売会と連携して実施。地元住民や一般市民を対象として、毎回50人程度が参加している。	都市環境システム	北原理雄 名誉教授 郭 東潤 助教	http://urbanlab.tu.chiba-u.ac.jp/	16年度-進行中
「行徳小普請組」のまちづくり活動	地域づくり	市川市・地域まちづくり団体(行徳てらまち会)・中小建設業者(行徳小普請組)との協働による市川市行徳地区の地域連携まちづくりである。大学が支援し、地元住民組織・建設業者・一般市民が、毎回60人程度参加している。	都市環境システム	北原理雄 名誉教授 郭 東潤 助教	http://urbanlab.tu.chiba-u.ac.jp/	16年度-進行中
景観まちづくりフォーラム千葉協議会	地域づくり	千葉県内の景観にかかわる活動をしている団体が相互に情報交換、課題共有をするとともに、景観を大切にしたいまちづくりを進めるにフォーラムやセミナーの開催を行うためのプラットフォーム組織であり、千葉大教員がアドバイザーとしてバックアップしている。	都市環境システム	北原理雄 名誉教授	http://www2.odn.ne.jp/npo-club/landscape/new-index.html	20年度-進行中
君津市久留里フィールドミュージアム	地域づくり	久留里地区商店街と千葉大学と千葉県の連携により、地域再生のための活動を展開。NPO法人久留里フィールドミュージアムを設立し、社会実験、アートイベント、建物調査、活用提案を行っている。平成21年度には、NPO久留里フィールドミュージアムが旧河内屋をギャラリーに改修し、君津市で初めての国の有形文化財として登録された。	都市環境システム	宮脇勝 准教授	http://www.kururi.info/	18年度-進行中
柏駅周辺における景観シミュレーションとデザイン協議体制の構築	地域づくり	国による地域景観づくり緊急支援事業の公募に際し、柏市、柏市中心市街地活性化協議会、森ビルと産官学連携して応募し、国の補助事業として採用された。JR柏駅周辺における景観まちづくりとデザイン協議体制の構築を図るため、様々な企画、調査、景観基準、再開発提案を実施する。	都市環境システム	宮脇勝 准教授	http://miyawaki-labo.tu.chiba-u.ac.jp/open.html	21年度-進行中
NPO千葉まちづくりサポートセンター(ポーンセンター)	地域づくり	NPO千葉まちづくりサポートセンターは、市民・行政・企業・専門家によるパートナーシップ型まちづくりを、独自の手法とネットワークでサポートするNPOで、千葉大教員が代表となりバックアップしている。	建築	福川裕一 教授	http://www.ica.apc.org/born/	16年度-進行中
公益信託印西まちづくり基金運営委員	地域づくり	印西市市民活動推進条例に基づいて、まちづくり活動を行う団体に対する助成を行い、印西市を住みよいまち、豊かな地域社会にしていくためのまちづくり活動を支援及び促進する活動である。	建築	福川裕一 教授	http://www.chibabank.co.jp/kojin/tameru/machidukurifund.html	16年度-進行中
幕張インターナショナルスクール	地域づくり	平成21年4月開校・幕張インターナショナルスクールの基本構想の作成および計画・設計指導を行った。また開校後は使われ方調査を実施し、施設の有効活用への提案を行っている。	建築	柳澤要 教授		19年度-進行中
千葉県八千市廃棄物減量など推進審議会	地域づくり	八千代市の一般廃棄物および産業廃棄物の処理基本計画および環境問題、資源問題などについて審議・策定するための委員会。八千代市の市民、事業者および学識経験者が参加し、ごみの排出量の削減や資源化の向上の視点から意見交換を行い、循環型社会の形成を目指す。	共生応用化学	袖澤利昭 准教授		21年度-進行中
流山の魅力再発見「春・秋散策会」に関連する案内サインのデザイン	地域づくり	大学院生と地元住民の団体「流山まちなみ会」「ガーデニングクラブ花恋人」との協働で、春と秋の散策会の開催に関連した仮設案内、誘導サインを設置し、評価を行った。	デザイン	佐藤公信 教授		22年度-進行中

千葉県長生郡一宮町	地域づくり	一宮町庁舎建設に関する庁舎検討委員会の委員長として計画内容の策定を行った。	建築	岡田哲史 准教授		22年度-進行中
山武市あじよすつ会	地域づくり	成東駅前周辺活性化を目的に、集まった市民とともに成東駅前降客に対して2度のアンケートを実施。駅前周辺に対するニーズを調査し、その結果を踏まえて、仮設のバヴィリオンを駅前緑地広場に建設(設計は千葉大学内学生コンペ、施工も学生たちが行った)して農産物の展示即売を実施するなど、2度のイベントを実施。2回の一般参加者数合計1,700人、経済効果は140万円であった。会はさらに山武市産業フェスティバル、市民活動フェスタ等にも出展して、駅前に対する市民のニーズ調査を実施しており、その成果をもとに、将来へ向けた活動は現在も継続している。	都市環境システム	中谷正人 客員教授		22年度-進行中
千葉市科学都市戦略推進委員会	地域づくり	千葉市科学都市戦略事業方針の策定にあたり、助言を行う。	ナノサイエンス	上野信雄 教授	http://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/kikaku/kagaku.htm	22年度-進行中
千葉市科学館外部評価委員会	地域づくり	独立行政法人科学技術振興機構・先進的科学館推進事業「科学するところの伝達とはぐくみ-日常的な科学フォーラムの創成にむけて」の実施に伴う外部評価を行う。	ナノサイエンス	上野信雄 教授	http://www.kagakukan.go.jp/	22年度-進行中
千葉市美術館「しかけ絵本展」における千葉市美術館との共同ミニワークショップの開催	地域づくり	平成24年9月に開催される「絵本のかたち-日本のしかけ絵本展」会場において、来館者が立ち寄るミニ・ワークショップを企画、実行した。	デザイン	佐藤公信 教授		24年度
千葉県八街市における「かいたく保育園」における活動提言	地域づくり	平成25年度に千葉県八街市に開設される「かいたく保育園」に関して、当該地域の生活者らへの聞き取り調査ならびに質問紙調査に基づき、地域に根ざした運営のあり方を導出・提言を行っている。平成24年度にあつては、同保育園が地域文化伝承の場となる可能性を追求・提言した。	デザイン	植田憲 教授		24年度-25年度
サイエンスカフェ「第一回きぼー千葉かがく会議」	市民講座	同会議の一つとして設定された「千葉市のエネルギー政策と未来を話し合うワークショップ」にて、国レベルで議論されているエネルギー政策を、千葉に置き換え、身近な問題として自ら考えるという設定のもと、議論のベースとなる電気エネルギーの現状について参加した市民を対象にレクチャーを行った。平成24年10月7日	電気電子工学科	近藤圭一郎 准教授		24年度
特定非営利活動法人まちづくり千葉	地域づくり	特定非営利活動法人まちづくり千葉は、市民と企業・専門家を中心に、市民団体ならではの手法やネットワークを通して千葉中心市街地のまちづくり活動を展開するNPOとして、千葉大教員が理事となりサポートしている。	都市環境システム	郭 東潤 助教	http://www.chal.jp/npo/	20年度-進行中
千葉県の観光と地域活性化に向けた活動						
おもてなしリーダー養成研修会	地域づくり	観光立県千葉の実現に向け、おもてなしリーダー養成のための研修会にて事例研究、意見交換のコメンテーターを担当した。平成20年11月19日、20日	デザイン	宮崎清 名誉教授 植田憲 准教授		20年度
千葉県山武市における地域資源調査Ⅰ	地域づくり	平成19年8月5日から8月11日まで潜在的な地域資源の発掘調査と活用提案。 平成20年8月3日から8月9日まで潜在的な地域資源の発掘調査と活用提案。	デザイン	宮崎清 名誉教授 植田憲 准教授 樋口孝之 准教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	19年度-20年度
共生環境デザインによる房総半島活性化支援	総合的 地域研究	自然環境と人工環境との連関に焦点を当てた共生環境デザインという新しい概念と方法を教育プログラムに確立して、地域に身を置き、地域の人達と共に学び、考え、行動する人材と、そのリーダーとしてのホームタウンデザイナーの育成を図る。園芸学研究科と連携して実施している。	デザイン 建築 都市環境システム	清水忠男 名誉教授 北原理雄 教授 佐藤公信 准教授 樋口孝之 准教授 柳澤要 准教授 宮脇勝 准教授 郭東潤 助教 他	http://www.design.ti.chiba-u.jp/pagp/	19年度-21年度
南房総地域の観光創造をはかる環境デザイン計画	地域づくり	モニター被験者による行動実験やまち歩き等を通して、地域の魅力を発見、確認し、それらをどのように来訪者に伝えるか、どのように享受していただけるか等について、学生達とともに考え、デザイン提案につなげてゆく。	デザイン	佐藤公信 准教授 原 寛道 助教	http://e-design.ti.chiba-u.jp/	20年度-21年度
いすみ市日在地区子育て支援拠点の遊び環境整備	地域づくり	自然豊かな地域のいける子育てのあり方を、いすみ市で積極的な活動をしている自主保育サークル「やかまし村」の方々の活動に関わり、新たに整備し始めた活動拠点となる古民家の周辺環境の整備として、移動型遊具を提案し、4基実施した。	デザイン	原寛道 助教		21年度
千葉県鋸南町における地域資源調査	地域づくり	潜在的な地域資源の発掘調査と活用提案。	デザイン	樋口孝之 准教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	20年度-22年度
いすみ市における共生環境デザインによる地域活性化支援	地域づくり	いすみ市において、自然環境、地域文化、人的交流などの観点から地域調査を実施し、潜在的資源を活用しながら地域生活に有用なデザイン提案を行なう。	デザイン	鈴木直人 教授 佐藤公信 准教授 樋口孝之 准教授 寺内文雄 准教授 原寛道 助教 小野健太 助教 小山慎一 助教 八馬智 助教	http://www.design.ti.chiba-u.jp/pagp/	20年度-22年度
山武まちづくり提案	地域づくり	環境プランニング演習Ⅱの課題として実施。山武市の後援を得て、3年生が地元住民と協働し、地域活性化のための提案を作成し、地元で発表会を行っている。	都市環境システム	北原理雄 教授 中谷正人 客員教授 郭 東潤 助教		20年度-進行中
千葉県いすみ市におけるデザインサーベイに基づく生活づくりデザイン	地域・生活づくり	千葉県いすみ市において、行政担当者、ならびに、いすみ市民らと協働し、これまで必ずしも十分に活用がなされてこなかった潜在的な地域資源を再発見し、それらの活用を通して地域の人びとが相互に交流いきいきと暮らしていくための方策を模索した。NPO法人 太東埼燈台クラブが主催する「太東埼景観策定会議」事業の実施、正立寺集落における農泊事業の推進など、多様な自律に向けたプロジェクトに結び付いている。	デザイン	鈴木直人 教授 植田憲 教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	22年度-進行中
白子町における環境共生デザイン	地域づくり	学部生の授業の一環としての地域づくり。地元市民、商工会との共同。千葉大工学部建築が中心となり意匠系とも連携。	建築	柳澤要 教授	http://www.design.ti.chiba-u.jp/pagp/	19年度-進行中
館山市における環境共生デザイン	地域づくり	学部生の授業の一環としての地域づくり。地元市民、商工会との共同。千葉大工学部建築が中心となり意匠系とも連携。	建築	柳澤要 教授 岡部明子 教授	http://www.design.ti.chiba-u.jp/pagp/	20年度-進行中
館山市塩見海辺の里づくり	地域づくり	茅葺古民家を利用し、地元の方々と学生がともに集う場所を改修してつくり、そこを核に海辺の里の風景を次世代にどう受け継いでいくかをともに考え活動していく。22年度は学内の地域連携助成事業に採択され、他学部の茶道部の学生も参加して「かや茶会」実施。23年度は地区の人々と「かや談義・茶会」を開催の後、かや屋根の補修をする。現代GP「環境共生デザイン」をきっかけにした活動。	建築	岡部明子 教授	http://urbanlab.tu.chiba-u.ac.jp/okabe/tateyama/	20年度-進行中
館山市まちなか塾	地域づくり	中心商店街の建物を一部改修提案・施工するプロセスを通じて、「まちなかの暮らし」に新提案をしかけていく。22年度は、地域活性化センター助成事業として学生たちがハード改修に参加。プチ改修に見合った耐震対策の試みでもあった。23年度は改修したスペース「まちなか交流館」を拠点に、商店街と協働で活動を展開、新たな改修の可能性を探る。現代GP「環境共生デザイン」をきっかけにした活動。	建築	岡部明子 教授	http://urbanlab.tu.chiba-u.ac.jp/okabe/tateyama/	22年度-進行中
館山市「e-旅」研究会情報案内システム提案	地域づくり	館山市内におけるウォーキングモデルコースの選定及び情報案内表示に関する基本的な考え方、具体的なデザインの提案を行い、有効性に関する検証をおこなった。	デザイン	佐藤公信 教授 原寛道 助教		21年度-23年度

千葉県山武市川崎地区における里山再生	地域づくり	千葉県山武市川崎地区において、里山再生プロジェクトを推進している。	デザイン	鈴木直人 教授 植田憲 教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	20年度-23年度
千葉県いすみ市正立寺地区における農泊事業の推進	地域づくり	千葉県いすみ市正立寺地区において、農泊事業を推進している。	デザイン	鈴木直人 教授 植田憲 教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	22年度-進行中
佐倉市・文化資産の運用	地域づくり	佐倉市の文化資産を把握し、価値の確認と情報の発信を担う市民文化資産運用委員会委員として活動している。	都市環境システム	森永良丙 准教授		23年度-進行中
千葉県山武市における地域資源調査Ⅱ	地域づくり	潜在的な地域資源の発掘調査と活用提案。	デザイン	鈴木直人 教授 植田憲 教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	23年度-進行中
流山本町ツーリズム推進事業に関連したデザイン提案	地域づくり	流山市の本町活性化を念頭におき、住民主導のワークショップを通して、「半旅モデルコースの策定」「みりんを中心とした食開発」「本町のおもてなし事業」に関わるデザイン提案を行った。	デザイン	佐藤公信 教授		24年度-進行中
外国人と日本人の交流会	地域づくり	2012年8月17日 10:00～19:00に千葉市国際交流協会(プラザ)において、東芝及び東京ベイ通信と協力して対面型及び携帯型音声通訳機のデモを行った。(通訳機を使って日本人学生と外国人の交流を試みた) なお、イベント日以外に、8月20日～24日、9月10日～14日の間、同じ場所と同機器のデモを行った。	情報画像	黒岩真吾 教授		24年度
千葉県山武市成東駅前活性化	地域づくり	千葉県山武市成東地区、特に駅前南側周辺を中心に地域活性化にむけた調査&提案を行っている。	都市環境システム	郭 東潤 助教		24年度-進行中
四街道まちづくり提案	地域づくり	四街道市において住民生活を取り巻く建築、街路、広場、自然、文化などを都市環境デザインの視点からまちづくり提案を行っている。	都市環境システム	大川信行 客員准教授		25年度-進行中
全国に広がるまちづくり活動						
中心市街地における新しい住宅供給の実現	地域づくり	エクスプレス沿線あるいは土浦市・水戸市等の中心市街地再生において、自治体と連携し、定期借地権を用いたつくば方式マンション、新型コア住宅等の新しい住宅供給の可能性を検討し、地域活性化につなげている。NPO法人を主導して活動している。	都市環境システム	小林秀樹 教授	http://kobayashi-lab.tu.chiba-u.jp/	16年度-21年度
滋賀県長浜市の中心市街地活性化	中心市街地活性化	市民ディベロパー「黒壁」で知られる長浜の町づくりにさまざまな形で参加。現在は、歴史的な町家を活用した宿泊施設整備のプロジェクト、市役所を含む公共公益ゾーン整備のワークショップなどが進行中。	建築	福川裕一 教授		昭和61年-進行中
NPO全国町並み保存連盟	地域づくり	全国町並み保存連盟の活動を支援している。1974年4月、愛知県名古屋市中区有松の絞りの老舗の座敷に、「妻籠を愛する会」、「今井町を保存する会」、「有松まちづくりの会」の3団体からの代表約20名が集まって誕生し、その後、「郷土の町並み保存とよりよい生活環境づくり」をモットーとして住民発の“全国組織”に発展した。 21年度は佐原・成田が全国大会の会場となり、11月13-15日に開催。千葉大が運営支援を行う。	建築	福川裕一 教授	http://www1.odn.ne.jp/~cah24160/index.html	昭和63年-進行中
香川県高松市丸亀町商店街再開発	中心市街地活性化	困難とされる地方都市の商店街再生／再開発に専門家として当初から参加。2007年にA街区が完成し、都市計画学会石川方ほかを受賞。現在も進行中。	建築	福川裕一 教授		2年度-進行中
都心の水辺探訪クラブ	共同研究・地域づくり	関東の大学研究室(法大、千葉大、芝工大、東大、早大、日大等)が共同し、水辺に開いたまちづくりを目指して、NPO地域交流センターと社会実験を行っている。東京の運河、利根川、江戸川などに出て、水上からまちづくり演習を考えたり、船着き場の設計提案を考えたり、様々な水辺のイベント(お台場Eポート防災交流大会など)を通じて、行政関係者も交えて活動している。	都市環境システム	宮脇勝 准教授	http://www.irec.or.jp/waterfront/	16年度-進行中
新島村のコーガ石を用いた景観まちづくり	共同研究・地域づくり	新島の地域振興を目的に、千葉大学が地元産のコーガ石の景観資源の調査を行い、ワークショップ、講演会を開催している。住民や地域行政への理解を深め、学科内での領域を超えた協働研究となっている。	都市環境システム	宮脇勝 准教授 木村諭史 客員准教授		26年度-進行中
港区芝公園エリアの景観まちづくり	地域づくり	港区、東京タワー(日本電波塔株式会社)と共同し、調査研究及びワークショップを開催し、芝公園全体の再生計画を提案している。	都市環境システム	宮脇勝 准教授		25年度-進行中
渋谷まちづくり研究会での商業地評価	地域づくり	渋谷センター商店街振興組合、渋谷公園通り商店街振興組合が行う渋谷まちづくり研究会で、毎年、商業地の健康診断を実施し、事業者、事業者、地権者に状況分析結果を提示、次の施策立案を行う。	都市環境システム	村木美貴 准教授	http://muraki-lab.tu.chiba-u.jp/japanese/index.htm	17年度-23年度
マンション問題全国集会／景観と住環境を考える全国ネットワーク	地域づくり	各地で高層マンション建設が強行され、地域住民との紛争が多数発生している中で、街の環境維持を目指して活動する全国の住民組織が集まる集会の開催を支援している。2008年7月から「景観と住環境を考える全国ネットワーク」。	建築	福川裕一 教授	http://www.machi-kaeru.com/cn3/21tosh001.html	19年度-進行中
マンション問題全国集会	地域づくり	各地で高層マンション建設が強行され、地域住民との紛争が多数発生している中で、街の環境維持を目指して活動する全国の住民組織が集まる集会の開催を支援している。	建築	福川裕一 教授	http://www.machi-kaeru.com/cn3/21tosh001.html	19年度-進行中
鳥取市におけるめ中心市街地活性化のための新しい住宅づくり	地域づくり	鳥取市及び建築研究所に協力し、衰退する鳥取市中心市街地の活性化をはかるために、市有地及び一般民有地を利用し定期借地権を応用した新しい住宅を実現する活動を行う。市の委員会活動だけではなく、セミナーや講演、調査を通じて実現に向けて協力している。	都市環境システム	小林秀樹 教授		20年度-進行中
マンション管理組合連合会の設立支援	地域づくり	マンションの増加に伴い各自治体で管理組合の連携強化が重要になっており、その設立に向けてシンポジウムの開催、規約作成などの専門的支援を行う。平成24年度につくば市における設立を支援した。	都市環境システム	小林秀樹 教授		23年度-進行中
自治体と連携した空き家活用推進の支援	地域づくり	全国手に空き家が増える中で、その活用策の推進・調査・課題解決について自治体と連携して取り組んでいる。豊島区で平成24年度、世田谷区で平成25年に実施。また、空き家活用の法制度改正の具体策を提言して推進中である。	都市環境システム	小林秀樹 教授		24年度-進行中
新島村式根島での観光まちづくり事業	地域づくり	本島新島村式根島にて、観光協会と連携し、観光まちづくり事業および各種のイベントの企画・実施協力を行っている。観光が主産業で人的資源が不足するなか、ワークショップ運営、アンケート実施や各種可視化など外からの視点と学生という年齢層・立場を活かした密接な提携活動をしている。加えて、1ターン者による民宿リノベーションを軸にした環境調和型の宿泊施設も整備されている。	都市環境システム	中込秀樹 教授 木村諭史 客員准教授		23年度-進行中
全国の住民参加の住まい・まちづくり支援と活動	地域づくり	良質な住まいと誰もが安心して暮らせる良好なコミュニティや住環境を実現するために、「NPOコーポラティブハウス推進協議会」と共に全国における住み手が主体となった住まい・まちづくりを支援し、その普及を推進している。	都市環境システム	丁志映 助教		19年度-進行中
兵庫県豊岡市TOYOOKA町衆塾	地域づくり	2012年3月に民間の有志で設立されたまちづくりの会の支援活動。定期的(年4回)に集会を開き、各々の会のテーマに相応しい専門家を招聘し議論を展開するさいのコーディネータおよび講演をおこなっている。これまでに第1回:河野太郎氏(衆議院議員)、第2回:毛谷村英治(立教大学)。	建築	岡田哲史 准教授		24年度-進行中
鹿児島県始良市における龍門司企業組合との連携による地域づくり活動	地域づくり	鹿児島県始良市に位置する「龍門司企業組合」との連携に基づき、当該地域の潜在的な地域資源を活用した地域づくり活動を実践している。平成24年度にあつては、当該地域で産出する陶器の廃材・端材を活用した空間演出パネルを作成しその利活用を考察・提言した。	デザイン	鈴木直人 教授 植田憲 教授		24年度-進行中
鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト	地域づくり	長野県上田市に位置する鹿教湯温泉周辺地域の「鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト」に、長野大学、拓殖大学との共同で参画し、地域資源の再発見・再認識に基づく生活づくり提言を行っている。	デザイン	植田憲 教授		24年度-進行中

川崎市ウェルフェアイノベーションプラットフォームへの参画	地域づくり	「ウェルフェアイノベーション」として、福祉における様々な社会的課題の解決と福祉・介護産業の振興に取り組んでいます。	メディカルシステム	齋 文偉	http://www.city.kawasaki.jp/templat es/press/280/0000056786.html	25年度-
世界に広がる環境・まちづくり活動						
循環型社会形成のための日中環境問題調査	総合的地域研究	地球環境再生保全機構の支援の下で中国の貴州省貴陽市、北京市、青島市と日本の千葉市の環境問題(大気、水質、廃棄物など)について比較調査し、循環型社会形成のための基本的な指針などを策定した。	共生応用化学	袖澤利昭 准教授		14-16年度、18-20年度
水資源と環境問題	研修	中国水利部の研修生15名程を対象に日本と中国の今後重要な資源となる水の現状と将来および水問題にともなう自然環境についてのシンポジウムを開催。	共生応用化学	袖澤利昭 准教授		20年度-21年度
イタリア・ヴェネツィア市・ムラーノ地区まちづくり	地域づくり	2010年、ヴェネツィア市ムラーノ島のプロモ・ヴェートロ(ムラーノガラス推進協会)と共同でムラーノ・ガラスを核とした文化施設の計画提案およびムラーノ島の再活性化(まちづくり)提案をおこなった。	建築	岡田哲史 准教授		22年度
世界遺産ベトナム・ホイアンのまちづくり	地域づくり	1992年以来、文化庁、昭和辞し大学など調査等にたずさわリ、1999年に世界遺産。現在も毎年シンポジウム等を開催。2009年度は「The Second Hoi An Declaration 2009」をまとめた	建築	福川裕一 教授		4年度-進行中
ベラクルス大学及びアグアスカリエンテ自治大学(メキシコ)との相互交流まちづくりワークショップ	地域づくり	2001年以来、相互に教員・学生が訪問し、合同チームを編成してまちづくりワークショップを行っている。	都市環境システム 建築	北原理雄 名誉教授 岡部明子 教授 郭 東潤 助教		13年度-進行中
イタリア文化会館(東京)と千葉大学の文化行事の連携	国際文化交流	イタリア文化会館(東京)と建築・ランドスケープに関する文化行事の連携を長年行っている。2007年から2010年は、千葉大学、法政大学、鹿児島大学とイタリアのジェノヴァ大学、ペスカラ大学、トリノ工科大学との共同ワークショップと展示会を東京のイタリア文化会館で行った。2010年には、その内容が「Architecture and Landscape」に出版され、海外に伝わった。また、2011年には、本学留学終了生と共に作成した「日本における修復—建築・都市・風景—」が出版され、日本文化と修復技術を海外に伝えた。	都市環境システム	宮脇勝 准教授		13年度-進行中
ハルビン工業大学(中国)との相互交流まちづくりワークショップ	地域づくり	2002年以来、相互に教員・学生が訪問し、合同チームを編成してまちづくりワークショップを行っている。	都市環境システム	北原理雄 名誉教授 郭 東潤 助教		14年度-進行中
ベトナム・ハノイ36通町の保全と再生	地域づくり	2003年以来、現地の町並み保存機関、ハノイ建築大学と調査にたずさわリ、継続的にシンポジウムを開催。現地に、研究・調査・プランニングの態勢を確立するよう活動を行っている	建築	福川裕一 教授		15年度-進行中
イタリアと日本の世界遺産登録推進のための連携	地域づくり	日本の文化庁とイタリア政府の協定に基づき、文化財を活用した世界遺産登録の推進を目的とした研究連携を行い、毎年ワークショップを開催し、歴史的建造物や景観計画に関わる計画制度の共同研究、日伊の国際交流の支援をしている。平成2010年度は、白川郷にて国際ワークショップを開催した。	都市環境システム	宮脇勝 准教授		19年度-進行中
ジャカルタ(インドネシア)の都市圏戦略とリンクしたカンボン環境改善の提案	地域づくり	中心の過密地区として知られるカンボンや郊外に増殖中のカンボンに受け継がれてきたコミュニティの知恵を活かす環境改善を提案する。急成長するメガシティの都市圏戦略とリンクさせることに重点を置く。23年度は、地元インドネシア大学建築学部と合同WSを実施。地球研「メガ都市プロジェクト」と連携。	建築	岡部明子 教授	http://www.chikyu.ac.jp/rih n/project/C-08.html	21年度-進行中
ブダペスト(ハンガリー)ユダヤ人地区に対する提案	地域づくり	ユダヤ人地区において、進行中の大規模再開発のオルタナティブとして、同地区に特徴的な街区内に中庭が連鎖する構造を活かした提案をする。地元大学および大阪大学木多研究室と協働。	建築	岡部明子 教授		22年度-進行中
パラオ国ニワール州における持続する生活づくり	地域・生活づくり	ニワール州において2010年5月と9月現地にて学生とともにデザインサーベイを行い、現地の住民と食・工芸文化の継承を地域の振興資源として生活デザインの中に生かしていく提案を行った。戦前の日本統治下において教育を受けた高齢者の方々の生きがいがづくり、子供の教育プログラムなどを織り込み、州政府に評価されている。	デザイン	鈴木直人 教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	22年度-進行中
ソーラーデカスロンヨーロッパ2012	総合的地域研究・地域づくり	2012年夏にスペインのマドリッドで開催されるソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012(以下、SDE)にて、次世代のソーラー住宅を建設して総合的な性能等を競う競技に参加します。本競技は、アメリカ(ワシントン)大会は2002年より5回の開催歴があり、ヨーロッパ(マドリッド)大会は2010年に続き今回で2回目の開催になります。2010年秋に書類一次審査にて応募数33チーム(47大学)から世界15カ国、20チームが選抜され、そのチームの一つとして日本ではじめて参加します。応募案は、日本の伝統的な家屋をベースに、軒の深い縁側や大きく開放できる窓、畳や障子など、日本の文化を織り込んだ計画です。2012年9月にはこの計画に基づく住宅をマドリッドに建設し、その住宅を対象とした公開2次審査があり順位が決定します。今後、工学部建築学科を中心として、園芸学部、医学部、教育学部など他の学部の協力を得て、全学をあげての組織体制を構築し、協賛企業・団体と連携し、2012年の建設に向けプロジェクトを進める予定です。	建築を中心に全学で取り組み	川瀬貴晴教授・粟生明教授・上野武教授・岡部明子教授・宗方淳准教授・鈴木弘樹助教など	http://www.facebook.com/pages/Solar-Decathlon-Omotenashi-House-%E3%82%BD%E3%83%BC%E3%83%A9%E3%83%BC%E3%83%87%E3%82%AB%E3%82%B9%E3%83%AD%E3%83%B3-%E3%81%8A%E3%82%82%E3%81%A6%E3%81%AA%E3%81%97%E3%83%8F%E3%82%A6%E3%82%B9/160337127355661	22年度-進行中
イタリアと日本の景観計画づくりの連携	地域研究	イタリアのランドスケープ専門家を対象に、イタリア文化省と千葉大学等でランドスケープ・アーバニズムに関するシンポジウム(ローマ)を開催するなど、現在も連携して景観計画技術のための研究交流をしている。	都市環境システム	宮脇勝 准教授		23年度-進行中
インドネシアの伝統的生活文化の再確認・再認識に基づく生活づくり提案	地域づくり	インドネシア・バンドン工科大学との連携に基づき、インドネシアの伝統的生活文化の再確認・再認識に基づく生活づくり提案を行っている。 ①インドネシアにおける伝統的パティック文化の再発見(平成24年):ジャワ島中部に位置する古都ソロならびにジョグジャカルタを中心として、同国の伝統的工芸のひとつであるパティックに関する調査を行い、当該地域の生活づくりにおけるその役割の再認識を行うとともに、今後の活用提言を行った。 ②インドネシア・バンドン市周辺における竹の利活用文化に関する調査・研究(平成24年):インドネシア・バンドン市周辺における	デザイン	鈴木直人 教授 植田憲 教授		24年度-進行中
ヴェネツィア建築大学との歴史的風景保全の連携	地域研究	ヴェネツィア建築大学と連携し、歴史的風景保全のための調査方法と計画づくりについて、共同研究を行っている。ヴェネツィアにあるイタリア文化省ヴェネツィア文化財展示サロンで、日本の風景保全の活動の展示会が行われた。現在、大学間協定を準備し、継続的な連携を進めている。	都市環境システム	宮脇勝 准教授		22年度-進行中
欧州評議会の景観条約会議との連携	地域・政策研究	フランスを本部とする欧州評議会(47カ国)は、欧州最大の国際機関であるが、中でも欧州景観条約の会議は、景観に関わる政策や法制度の国際連携を行っている。日本と欧州の地域・政策研究を連携する目的で、シンポジウムなどの国際会議を通じ、その後も関係国と国際交流を行っている。	都市環境システム	宮脇勝 准教授	http://www.coe.int/t/dg4/cultureheritage/heritage/Landscape/ReunionAteliers/turkey_en.asp	26年度-進行中
「日本・国指定 重要無形民俗文化財展演」への参加(台湾・台中市)	地域づくり	2013(平成25)年2月13日~3月10日の会期で、台湾台中市において行われた「日本・国指定 重要無形民俗文化財展演」について、日本の「重要無形民俗文化財」の特質を台湾の人びとに伝えるとともに、その興味・関心を鼓舞することを旨として、会場設計提案に参加した。3月1日には、関連するにセミナーに演者として講演を行った。	デザイン	植田憲 教授		24年度
韓国清州大学と国際都市・建築デザイン交流	地域づくり	1999年以来、相互に教員・学生が訪問し、合同チームを編成して国際まちづくりワークショップを行っている。	都市環境システム	北原理雄 名誉教授 郭 東潤 助教		11年度-進行中
韓国ソウル大学と都市再生研究調査	地域づくり	2008年以来、相互に教員訪問し、まちづくりワークショップや都市再生に関する学術交流を行っている。	都市環境システム	郭 東潤 助教		20年度-進行中

韓国交通大学と国際都市・建築デザイン交流	地域づくり	2011年以来、相互に教員・学生が訪問し、国際セミナーやまちづくりデザインワークショップなどを通して学術交流を行っている。	都市環境システム	郭東潤 助教		23年度-進行中
全米の新都デザイン創造構想	地域研究	全米4大学(ハーバード大学、MIT、ワシントン大学、カリフォルニア大学)の新都デザイン構想委員会に所属し、21Cの新都づくりにおけるプランニング技法や民間住宅建設の具体的なデザイン適用・効果について検証・提言を行っている。	都市環境システム	郭東潤 助教		25年度-進行中
フランスの住まい手参加型公営住宅の普及協力	住環境・地域づくり	フランスのモントルイユ市の公共機関OPHM、NPOBabayagasと、フランス初の住まい手参加型公営住宅の住環境づくりや他地域への普及に向けて調査協力を行っている。2016年に全住民に対して居住後評価の調査を実施する予定である。	都市環境システム	丁志映 助教		25年度-進行中
注目される郊外団地の再生活動						
分譲住宅団地の階段室改修設計コンペプロジェクト	地域づくり	国土交通省安心居住推進制度事業・稲毛高浜北団地階段室改修設計コンペ審査委員として企画・運営を支援。	都市環境システム	森永良丙 准教授	http://www.kenchiku.co.jp/news/detail.php?id=408	22年度
団地居住者とNPOによる海浜NTのまちと暮らしの再生活動	地域づくり	千葉地域再生リサーチ(NPO)の活動。高洲団地の再生をめざし、ローコストリフォームや住民参加イベントなどを提案している。	建築 キャンパス整備企画室	服部考生 名誉教授 上野武 教授 鈴木雅之 助教 吉岡陽介 助教	http://cr3.jp/index.htm	13年度-進行中
郊外団地の再生及び棟別再生の実現に向けた活動	地域づくり	老朽化した郊外住宅団地の再生に関するこれまでの研究成果を踏まえて、千葉市の住民向けマニュアルの作成を担当している。また、千葉市及び首都圏の団地住民と連携して新しい再生方法(棟別建替方式)を試行している。	都市環境システム	小林秀樹 教授 丁志映 助教	http://kobavashi-lab.tu.chiba-u.jp/	17年度-進行中
団地活性化に向けたルームシェアの実践	地域づくり	郊外団地の空家を、大学教員と団地住民が連携して有限責任事業組合を組織して借上げ、千葉大生のシェア居住に提供する実践活動。団地活性化にも有効な方法として注目される。	都市環境システム キャンパス整備企画室	小林秀樹 教授 鈴木雅之 助教 丁志映 助教	http://kobavashi-lab.tu.chiba-u.jp/	18年度-24年度
住宅団地の再生に向けた多機能複合施設の実現支援活動	地域づくり	千葉のUR賃貸団地に福祉施設等を導入することで団地の活性化をはかる計画づくり、及び実践支援を行う。平成20年度・21年度は自治会に協力して計画づくりを行い、22年度以降は、園生団地の多機能複合拠点実現に向けた支援を行っている。23年7月に施設が完成。現在は、事業の効果の検証を行っている。	都市環境システム	小林秀樹 教授		20年度-進行中
柏の葉キャンパスのまちづくり						
千葉県柏の葉アーバンデザイン委員会	地域づくり	柏の葉キャンパス駅に隣接する147,148街区の事業コンペの審査及びアーバンデザインを行う委員会。東京大学、千葉大学、江戸川大学の学識経験者が参加し、21世紀にふさわしい環境と健康をテーマにした新しい都市の設計デザインを検討している。	建築 都市環境システム	栗生明 教授 宮脇勝 准教授		18年度-進行中
柏市都市景観デザイン委員会及び景観アドバイザー会議	地域づくり	柏市の景観まちづくり条例の運用を行う委員会。柏の葉地区では、園芸学研究科と連携して、景観形成重点地区の制度づくり及び住宅地、建設行為に対する景観アドバイスを行っている。また、都市景観賞の選考を行っている。	都市環境システム	宮脇勝 准教授	http://www.city.kashiwa.lg.jp/public_information/council/048.htm	13年度-進行中
ケミレスタウン構想	その他	近年、新築の建物の中で建材から揮発する化学物質などに反応し、頭痛やめまいなどを生じる「シックハウス症候群」が問題になっている。ケミレスタウン推進協議会では、化学物質を低減した居住施設群を環境健康フィールド科学センター(千葉県柏市)内に建設し、シックハウスを疑われる子供の患者とその家族が実際に数日住み、症状改善を実証し、今後の生活環境の指針を得ることを目的とした実証実験を行っている。	建築 環境健康フィールド 科学センター キャンパス整備企画室	栗生明 教授 上野武 教授 鈴木弘樹 助教 森千里 教授(医学)	http://chemiless.hp.infoseek.co.jp/	17年度-進行中
柏の葉国際キャンパスタウン構想	総合的地域研究	千葉大学、東京大学、千葉県及び柏市が協働し、「柏の葉国際キャンパスタウン構想推進」に係る調査研究を実施し、土地利用あるいは大学や関係機関等の整備促進、民間施設や諸活動の誘致、公的施設整備や既存施設活用、交友環境などの基本方針を検討している。	建築 都市環境システム キャンパス整備企画室	栗生明 教授 上野武 教授 宮脇勝 准教授 鈴木弘樹 助教	http://www.chiba-u.ac.jp/general/press/2008/0508_kashiwa.pdf	18年度-進行中
UDCK(正式名称:柏の葉キャンパスシティ・アーバンデザインセンター)	地域づくり	柏の葉地区を中心に、国際性豊かな「環境・健康・創造・交流」のまちづくりの実現に向けて、地域(柏市、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会)と大学(千葉大学、東京大学)、民間企業や関係機関、市民が協働する場である。大学が中心となって「都市環境デザインスタジオ」等を展開している。	建築 都市環境システム キャンパス整備企画室	栗生明 教授 上野武 教授 宮脇勝 准教授 鈴木弘樹 助教	http://www.udck.jp/	18年度-進行中
ほのぼの研究所	地域づくり	大学コンソーシアム柏発の研究プロジェクトとして、平成19年度に発足、平成20年度に運営組織がNPO法人化。共想法による認知症予防について、高齢者を中心とする市民と産官学が連携し、実践研究を行っている。	機械 環境健康フィールド 化学センター	大武美保子 准教授		19年度-進行中
柏の葉カレッジリンクプログラム・パイロットコース	地域づくり	千葉県、柏市、東京大学、千葉大学が共同で提案している「柏の葉キャンパスタウン構想」を実現していくために、柏の葉エリアに関わる、市民、NPO、行政、民間企業、大学が「学び」を通じて共創する新しい形のカレッジリンク・プログラムを検討。環境・健康・食・農の視点から互教互学の市民科学の構築をめざしている。	建築 環境健康フィールド 科学センター キャンパス整備企画室	上野武 教授 栗生明 教授 鈴木弘樹 助教 天野洋 教授(園芸)	http://www.college-link-chiba-u.com/	20年度-進行中
柏の葉カレッジリンクネットワーク(通称:カルネット)	地域づくり	柏の葉カレッジリンクプログラムを修了した方による組織。柏の葉カレッジリンクプログラムで学んだ内容を街づくりに生かし、貢献するための活動組織。緑の計画や維持管理が行える組織を目指して活動するグリーンフィールド委員会(生け垣クラブ)等の具体的な活動がある。	建築 環境健康フィールド 科学センター キャンパス整備企画室	上野武 教授 鈴木弘樹 助教 高垣美智子 教授(園芸)など		22年度-進行中
スマートグリーンプロジェクト	地域づくり	樹木にICタグを取りつけ、樹木の情報(学術的情報から育て方などを知り、市民は樹木に対するコメントや害虫情報や健康状態を入力する)を双方向で情報交換するシステムを構築。エリア全体の樹木を通して勉強できる場になるとともに、樹木の健康状態や管理に役に立てる。	建築 環境健康フィールド 科学センター	鈴木弘樹 助教 野田勝二 助教(園芸)など		22年度-進行中
樹木の里親プロジェクト	地域づくり	保存樹木や貴重な樹木の子孫を千葉大学の技術で培養し、隣接する養護学校などで育成し、希望者に保存樹木や貴重な樹木の里親になってもらうプロジェクト。	建築 環境健康フィールド 科学センター	鈴木弘樹 助教 野田勝二 助教(園芸)など		22年度-進行中
空間デザイン部会	地域づくり	千葉県、柏市、東京大学、千葉大学が共同で提案している「柏の葉キャンパスタウン構想」を具体的に実現していくための協議会。そこでは、歩道の色や樹木の選定、管理方法の体制づくりなど様々な問題や調整を具体的に協議している	建築	鈴木弘樹 助教		22年度-進行中

柏の葉ライフサイエンス研究会	地域づくり	柏の葉キャンパス駅周辺の再開発プロジェクト。柏市、千葉県、三井不動産、三菱総研、国立がん研究センター東病院、	建築 環境健康フィールド 科学センター キャンパス整備企画 室 フロンティア医工学 センター	上野武 教授 五十嵐辰男教授 川平 洋准教授		23年度-進 行中
歴史的価値を守る活動						
NPO全国町並み保存連盟	地域づくり	全国町並み保存連盟の活動を支援している。1974年4月、愛知県名古屋市の老舗の座敷に、「妻籠を愛する会」、「今井町を保存する会」、「有松まちづくりの会」の3団体からの代表約20名が集まって誕生し、その後、「郷土の町並み保存とよき生活環境づくり」をモットーとして住民発の“全国組織”に発展した。21年度は佐原・成田が全国大会の会場となり、11月13-15日に開催。千葉大が運営支援を行う。	建築	福川裕一 教授	http://www1.odn.ne.jp/~cah24160/index.html	昭和63年- 進行中
川越町並み委員会	地域づくり	1988年設立の、住民による町並みマネージメント組織。蔵づくりの町並みのまちづくりに大きな役割を果たしてきた。	建築	福川裕一 教授		昭和63年- 進行中
城下町・小諸のまちづくり	地域づくり	「小諸なる古城のほり…」で知られる長野県小諸市のまちづくり。「NPO小諸町並み研究会」の活動を支援し、これまで2軒の町家を救い、2冊のデザインブックを作成。本年は市の景観計画に参入して、市民側の提案づくりを支援	建築	福川裕一 教授	http://www.machinami.komoro.org/	9年度-進 行中
羽澤ガーデンの文化財と景観を守る会	地域づくり	渋谷区広尾にある旧中村是公邸、その後将棋名人戦の舞台となった羽澤ガーデンのマンション開発に反対し、その文化財化を進める運動。現在、環境行政訴訟が提起されている。	建築	福川裕一 教授	http://sky.ap.teacup.com/hanezawa/	18年度-進 行中
さすが一の宮(NPO)	地域づくり	一宮町の歴史を生かしたまちづくりを考えるNPOへの参加	建築	福川裕一 教授 モリス M.N. 教授	http://npo-ichinomiva.seesaa.net/	19年度-進 行中
皇居周辺の景観	地域づくり	「検証・皇居周辺の景観：丸の内マンハッタン計画から20年、丸ビル解体から10年を経て」(2008.11.1)、「皇居周辺の景観 第二弾 都心の建築デザインはいま：超高層と歴史的建物、みんなで考える場を求めて」(2009.6.14)を開催	建築	福川裕一 教授	http://www.machinami.komoro.org/	20年度-進 行中
佐倉市・旧平井家住宅の利活用計画	地域づくり	佐倉市が保有する歴史的価値のある旧家屋の利活用に関して、大学院授業のワークショップで計画提案を行った。また、将来の整備検討について継続的にアドバイスをしている。	都市環境システム	森永良丙 准教授		21年度-25 年度
千葉県内の仏教文化の再認識・再確認に基づく地域資源活用提言	地域づくり	千葉県内に多数存在する寺院に安置された仏像の3Dデータ化を行うとともに、その学術的ならびに地域振興への利活用を考察している。また、寺院縁起にみられる無形の潜在的資源の利活用に基づく継承の方策を考察・提言している。	デザイン	久保光徳 教授 植田憲 教授		24年度
地域の環境保全活動						
三番瀬再生計画の支援	地域づくり	東京湾の環境保全をめざした三番瀬の埋め立て計画中止を受けて、千葉県主催の三番瀬円卓会議が提言した「三番瀬再生計画」の実現に向けて、専門的な見地から生態系および景観の再生に向けた様々な技術協力を行っている。千葉県三番瀬再生会議、千葉県三番瀬影響評価委員会は22年度までで終了したが、引き続き護岸の整備計画のために、千葉県市川塩浜護岸検討委員会を開催し、水辺の自然環境に配慮した護岸の景観設計を行っている。法経学部と連携した環境再生の試み。	都市環境システム	宮脇勝 准教授 倉阪秀史 教授(法経)		18年度-22 年度
千葉の里山森づくりプロジェクト推進会議	地域づくり	県民・企業が参加する千葉県内の自然環境保全を目指している団体である。本来悠たかな自然環境に恵まれていた千葉県において、残っている里山などの汚染と開発がないように、人々の意識を高め、保全運動を行う目的の組織である。	建築	福川裕一 教授	http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/b_seisui/chiikisenryaku/satovama/satovama.html	18年度-進 行中
千葉県廃棄物処理施設設置等専門委員会	地域づくり	千葉県環境生活部廃棄物指導課が管轄する委員会。廃棄物の最終埋立て処分場の設置等に関する審議を行い、設置の可否や条件を千葉県知事に答申する。	共生応用	町田基 教授 その他国立環境研	http://www.pref.chiba.lg.jp/haishi/iinkai.html	22年度-進 行中
東京都環境科学研究所外部研究評価委員会	地域づくり	東京と環境科学研究所(公益財団法人 東京都環境公社)は東京都の暮らしと環境を守るために大気、水質、土壌など広く環境関連研究を推進しているが、研究の効率的・効果的な推進を図るために研究の事前および事後の評価を行っている。	共生応用	町田基 教授 本條毅 教授(園芸) その他大学など	http://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/results/committee	23年度-進 行中
高齢者・障害者の自立を支援する活動						
知的障害者授産施設における田植え支援	福祉	知的障害者授産施設「明朗塾」塾生による田植えを平成18年から毎年1回、本研究室学生が手伝うと共に塾生との交流を行う活動を継続している。(連携団体等：八街市明朗塾 対象：塾生30名)	デザイン	宮崎 清 名誉教授 植田 憲 准教授 樋口孝之 准教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	18年度-20 年度
あんしん賃貸支援事業 居住支援体制に関する調査	福祉・住宅	高齢者・障害者・外国人・子育て世帯等が、民間賃貸住宅に円滑に入居契約できるような施策を検討するための全国先進事調査研究。 財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団、財団法人高齢者住宅財団との共同。	都市環境システム	森永良丙 准教授	http://www.hc-zaidan.or.jp/	18年度-20 年度
リハビリテーション支援のためのFESシステム研究	福祉	障害者や地域住民(病院)との連携	メディカルシステム	愈文偉 准教授		20年度
障害者と健常者が一緒に住むシェアハウスの実現支援	福祉	知的障害者と健常者が一緒に暮らすシェアハウスの実現を目指して、千葉県下のNPOを支援している。これにより、知的障害者の社会的な自立の一助とすることを目的としている。	都市環境システム	丁志映 助教 小林秀樹 教授		20年度-進 行中
聴覚障がい者・高齢者のための字幕に関する研究	福祉	聴覚障がい者・高齢者にとって有用な字幕付与を実現するための研究(KDDI研究所との共同研究)	情報画像学科	堀内靖雄 准教授 黒岩真吾 教授 篠崎隆宏 助教		23年度-進 行中
君津中央病院における言語訓練等の支援	福祉	失語症や筋萎縮性側索硬化症(ALS)の患者さん向けに、タブレット端末やPCを用いた言語訓練及びコミュニケーション支援の相談に応じると共に、研究開発中の言語訓練機を用いフィールドテストを行っている。	情報画像学科	黒岩真吾 教授 堀内靖雄 准教授 篠崎隆宏 助教		24年度
地域の安心・安全、震災復興を支援する活動						
都市型大災害時の地域コミュニケーション支援システム	その他	総務省関東総合通信局に対し、千葉市、船橋市等の都市部における大型災害時の帰宅困難者に対する地域密着型無線LANメッシュネットワーク、モバイルアドホックネットワークの設計、実証実験指導を実施	情報画像	阪田史郎 教授	http://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/if/press/p20/p2103/p210324r.html	20年度-22 年度
東日本大震災による液状化被害の全容解明と今後の対策の検討・支援	防災	下記の委員会等を通して、地震被害想定や液状化対策等の地域防災を検討している。 ・千葉市 液状化対策推進委員会 副委員長(H23年度～): 継続中 ・香取市 液状化対策検討委員会 委員(H24～H25年度): H25年度で終了 ・習志野市 液状化対策検討委員会 委員(H24～H25年度): H25年度で終了 ・千葉県 東日本大震災千葉県調査検討専門委員会 委員長(H23～H24年度): H24年度で終了 ・浦安市 液状化対策実現可能性技術検討委員会 委員(H24年度): H24年度で終了 ・浦安市 液状化対策技術検討調査委員会 委員(H23年度): H23年度で終了 ・浦安市 復興計画検討委員会 委員(H23年度): H23年度で終了 ・習志野市 被災住宅地公民協働型復興検討委員会 委員(H23年度): H23年度で終了 ・千葉県 石油コンビナートの耐震対策分科会 委員(H23年度): H23年度で終了 ・磯部街づくり研究会 アドバイザー(H23年度): H24年度で終了	都市環境システム	中井正一 教授		23年度-進 行中

千葉市が推進する液状化対策への支援	防災	・地域防災対策支援プロジェクト(文科省)のテーマとして採択(H25年度～):継続中	都市環境システム	中井正一 教授 関口徹 准教授	http://all-bosai.jp/chiiki_pi/	25年度-進行中
千葉県の地震被害想定	防災	・千葉県 地震被害想定調査検討会議 委員長(H26年度～):新規 ・千葉県 石油コンビナート防災アセスメント検討部会 委員(H26年度～):新規	都市環境システム	中井正一 教授		26年度-進行中
千葉市の防災全般	防災	千葉県防災会議 委員(H25年度～):継続中	都市環境システム	中井正一 教授		25年度-進行中
東日本大震災によるマンション被害の調査と復興支援の法制度提言と実践	その他	マンション学会による震災関連活動として、自治体や各地管理組合連合会と協力して、マンション復興の政策提言を行っている。同年6月に首相の千葉県下被害視察に同行、2013年に政策提言を発表して法改正につなげている。	都市環境システム	小林秀樹 教授		23年度-進行中
東日本大震災による液状化被害の全容解明と今後の対策の検討・支援	その他	千葉県液状化対策推進委員会の委員(H24.1~H26.1)として、液状化対策を検討している。	建築	中村友紀子 准教授		23年度
日本建築学会 2011年 東北地方太平洋沖地震および一連の地震災害調査報告会	公開講座	2011年東北地方太平洋沖地震災害調査速報刊行にともなう報告会で、2011年8月12日の広島開催での調査概要・被害概要を担当した。	建築	中村友紀子 准教授		23年度
東日本大震災による東北地方の文教施設被災調査	その他	県・市教育委員会の要望に応じて、東北地方太平洋沖地震による岩手県・宮城県・福島県内の文教施設の被災状況を調査し、補強方法や継続利用について意見を述べる。	建築	島田侑子 助教		23年度
千葉県耐震判定協議会	その他	主に、千葉県内の既存の公共建築物ならびに民間大規模建築物の耐震診断、耐震補強の指導・判定を行う	建築	野口博 教授 原田幸博 教授	http://www.chiba-u.ac.jp/message/prs/koho121/tokuwa04.htm	8年度-進行中
千葉県性感染症発生状況調査	千葉県民	県内医療機関を対象に性感染症発生数調査をおこなった	メディカルシステム	五十嵐辰男 教授		19年度-進行中
千葉市建築紛争調停委員	その他	千葉市内の建築紛争に掛かる調停において専門家として意見を述べる。	建築	高橋徹 教授		20年度-進行中
千葉県文教施設被災調査	その他	県・市教育委員会の要望に応じて、東北地方太平洋沖地震による千葉県内の文教施設の被災状況を調査し、対策について指導する。	建築	和永信之 教授 中村友紀子 准教授 島田知美 助教		22年度-進行中
千葉県医師会医事紛争処理特別委員会委員	その他	千葉県内の医療機関で生じた医事紛争の調停において、専門家として意見を述べる。	メディカル	五十嵐辰男 教授		23年度-進行中
地域の安心・安全を実現するためのICT(情報通信技術)について講演	その他	千葉県総務部情報システム課からの依頼により、千葉市で開催された平成23年度全国都道府県情報管理主管課長会秋季会議において「安全・安心を実現するICTを目指して」と題する講演を行った。	情報画像	阪田史郎 教授		24年度
産業振興・育成に向けた活動 全国を対象とする						
京葉臨海コンビナート人材育成講座	産業振興	京葉臨海コンビナート人材育成講座委員会委員	デザイン	植田憲 准教授		20年度
JST主催の地域発技術シーズ発表会(ひたちなか市文化会館)	産業振興	科学技術振興機構が実施している「地域イノベーション創出総合支援事業」の成果(シーズ)を産業界に向けて発表し、技術移転先企業や共同研究企業を見つけることを趣旨とする。「ものづくり」をテーマとした関東圏の技術シーズ・10課題の発表および企業との面談。この課題の1つに選ばれ、発表。	ナノサイエンス	坂東弘之 助教		20年度
千葉県東葛テクノプラザ大学等研究交流サロンにおけるシーズ発表	産業振興	参加される方々の信頼関係を築くことからはじめ、「産業界ニーズに基づく学シーズを活かした研究開発-顧客ニーズに基づく実用化開発新製品を市場に提供」というステップを目指す。	都市環境システム	小倉裕直 教授	http://www.ttp.or.jp/	21年度
ちば・戦略的デザイン活用塾セミナー	産業振興	広域関東圏知的財産戦略本部・関東経済産業局・特許庁・千葉県・千葉県産業支援技術研究所主催の『ちば・戦略的デザイン活用塾セミナー』(期日:2009年9月18日(金);場所:千葉工業大学津田沼キャンパス新1号棟2階)に協力し、「デザイン心理学的アプローチで迫るデザイン開発」という題目で講演を行った。	デザイン	日比野治雄 教授	http://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/design/backnumber/2009/seminar0918.html	21年度
第9回『ベンチャー・カップCHIBA』ビジネスプラン発表会準グランプリ受賞	大学発ベンチャー	デザイン心理学研究室の研究成果を基に設立された(株)BB STONEデザイン心理学研究所(技術顧問:日比野治雄教授)が第9回『ベンチャー・カップCHIBA』ビジネスプラン発表会(主催:財団法人千葉県産業振興財団)にて準グランプリ(2位)を受賞した。	デザイン	日比野治雄 教授	http://www.chibashi-sangyo.or.jp/contents/vc_b0_haonvo.html	22年度
「千葉大学発ベンチャー」称号取得	大学発ベンチャー	デザイン心理学研究室の研究成果を基に設立された(株)BB STONEデザイン心理学研究所(技術顧問:日比野治雄教授)が平成23年3月3日付で千葉大学発ベンチャーの称号を授与された。第6社目の授与となるが、工学系のベンチャーとしては第1号である。	デザイン	日比野治雄 教授		22年度
千葉県加工技術研究会総会の特別講演	講演	5月28日(金)に千葉県産業支援技術研究所 天台庁舎にて、「流れの可視化画像計測」の演題で講演を行った。	機械	三神史彦 准教授	http://www.em.eng.chiba-u.jp/~lab9/	22年度
低公害高効率新燃料方式の開発と自動車用パワーソースへの応用	産業振興	平成19~21年度にかけてNEDO受託研究で採択された「ディーゼルエンジンに匹敵する燃費の自動車用HCCIガソリンエンジンの研究開発」および平成22~24年度にかけてNEDO研究助成金に採択された「ハイブリッドパワートレインにブローダウン過給HCCIを適用して実用化するための研究開発」を通して、自動車用エンジンの燃費改善と排気浄化につながる成果を挙げた。	機械	森吉泰生 教授 窪山達也 特任助教 山田敏生 客員教授		22年度
第78回千葉地域活動高分子研究交流講演会	産業振興	千葉県内の化学企業および大学の研究者間での研究発表と研究交流	共生応用化学	谷口竜王 准教授	http://www.spsj.or.jp/	22年度
言語障害者の会話能力回復用絵カード訓練装置の実用化・評価・実証・改良研究	産業振興	高齢者・障害者の自立を支援する活動および地域の産業振興に向けた活動として、千葉県木更津市の福祉機器開発会社(株式会社エスコアール)と共同で『経済産業省平成22年度新規産業創造技術開発事業』に採択され、主に失語症患者を対象とした「言語障害者の会話能力回復用絵カード訓練装置(商品名:ActVoice)」を開発した。開発においては、木更津市の君津中央病院に	情報画像	黒岩眞吾 教授		22年度
グリセリンからジオール類の製造のための触媒開発研究	産業振興	バイオディーゼル製造時に副生するグリセリンを有効利用を目的として、グリセリンを原料とするプロパノールおよびプロパンジオールの効率的な製造のための触媒探索を目的として、チツソとズードケミー触媒と共同で研究している。	共生応用化学	佐藤智司 教授	http://chem.tf.chiba-u.jp/acb12/	22年度-23年度
ケミカルヒートポンプによるエネルギーリサイクル有効利用技術の研究開発	産業振興	低炭素社会実現を目指し、資源・エネルギー問題および環境問題の観点から、各種資源・エネルギーのリサイクル有効利用システムの検討を、主に化学工学と都市工学の立場から行っている。特に、化学反応エネルギーを利用する熱エネルギーリサイクル有効利用システムである各種ケミカルヒートポンプシステムの研究では、各種企業との共同研究により世界初の自動車廃熱による	都市環境システム	小倉裕直 教授	http://ogura-lab.tu.chiba-u.jp/	15年度-23年度
携帯型音声翻訳システムの評価手法に関する研究	産業振興	地域の産業振興に向けた活動として、千葉市の東京ベイ通信株式会社と旅行者向けの携帯型音声翻訳システムの実用化に向けた検討を続けている。2011年12月より「スマート通訳ポン」という名称で成田空港等でのレンタルサービス開始に至る。	情報画像	黒岩眞吾 教授		22年度-23年度
ちばデザイナー交流展 2011	産業振興	「デザインで人を、企業を、地域を元気に。」 県内デザイナーの集う一般社団法人ちばデザインネットワークとデザイン専門学科を持つ千葉工業大学、千葉大学による展示会を開催します。デザインに関心をお持ちの県内企業の皆様、自治体の皆様、そして多くの県民の皆様のご来場を心よりお待ちしております。 日時:平成23年9月2日(金)~7日(水) 10:00~18:00(最終日は15:00まで)	デザイン	下村義弘 准教授		23年度
「ポスト震災のものづくり・まちづくり」	産業振興	人を、企業を、地域を、日本を元気にするものづくりの方。地域が持つ自然資源・社会資源と先端テクノロジーを有機的に活用し、人々に心から喜ばれる価値の提供と持続発展可能な産業の創出を目指す、これからのものづくりとデザインのヒントを、豊富な事例と共に伝える。	デザイン	佐藤公信 教授		23年度
ひまわりベンチャー育成基金平成23年度上期助成金取得	大学発ベンチャー	デザイン心理学研究室の研究成果を基に設立された(株)BB STONEデザイン心理学研究所(技術顧問:日比野治雄教授)が、「公益財団法人ひまわりベンチャー育成基金」の平成23年度上期助成金の交付先に選定され、平成23年7月11日開催の助成金交付式において表彰を受けた。	デザイン	日比野治雄 教授	http://www.chibahimawari.org/component/content/article/31-general/75-h23kamiki-josei.html	23年度

「デザインで人を、企業を、地域を元気に。」ちばデザイン交流展2011	産業振興	千葉県主催の一般社団法人ちばデザインネットワークと千葉工業大学および千葉大学 による展示会『「デザインで人を、企業を、地域を元気に。」ちばデザイン交流展2011 産学官で考えるポスト震災のデザイン』(期間:2011年9月2日(金)～9月7日(水);場所:きぼーる1階アトリウム)に協力して参加した。	デザイン	日比野治雄 教授, 下村義弘 准教授	http://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/design/seminar/h23tenjikai.html	23年度
大学発ベンチャーをめざすサステナブルエンジンリサーチセンター(株)を立ち上げ	大学発ベンチャー	森吉研究室の研究成果を基に設立されたサステナブルエンジンリサーチセンター(株)(取締役:森吉泰生教授)が、自動車会社など10社とCSPCで整備された共同研究スペースを使って「ターボ高過給ガソリンエンジンの燃焼と過給システムの研究開発」コンソーシアムを3年間の計画で開始した。	機械	森吉泰生 教授		23年度
触媒学会千葉地区講演会	産業振興	「無機機能性材料合成技術と触媒」のタイトルで千葉県を中心とした化学企業および大学の研究者間での研究発表と研究交流を実施	共生応用化学	小島隆 准教授		23年度
第29回高分子学会千葉地域活動若手セミナー	産業振興	千葉県内の化学企業および大学の若手研究者・学生間での研究発表と研究交流(2011年3月8日(木))	共生応用化学	桑折道済 助教	http://www.spsj.or.jp/	23年度
SAITEC(埼玉県産業技術総合センター)研究発表会	産業振興	平成23年10月21日、SAITEC(埼玉県産業技術総合センター)研究発表会において「高速・高精度な電源回路設計ツール-高効率電力変換効率と小型化の両立を容易に実現-」という演題で講演を行った。	情報画像	関屋大雄 准教授		23年度
JST 技術移転シーズ紹介 A-STEP探索タイプ	産業振興	平成24年2月9日、JST 技術移転シーズ紹介 A-STEP探索タイプにて「高電力変換効率・低コストを両立する電力増幅器」という演題で講演を行った。	情報画像	関屋大雄 准教授		23年度
国際フォトポリマーコンファレンスの開催	産業振興	世界の電気電子産業界、化学工業界から参加者を募り、基礎的・学術的研究および応用分野開拓を振興するため、国際シンポジウムを開催している。千葉県内からも多くの大学・企業が参画し、活発な活動を行っている。	共生応用化学 画像科学	唐津孝 教授 高原茂 准教授		H9年度- 進行中
JST地域結集開発研究プログラム:次世代耐熱マグネシウム合金の基盤技術開発(熊本県)	総合的 地域研究 産業振興	地域として企業化の必要性の高い分野の個別的研究開発課題を集中的に取扱う産学官の共同研究事業であり、財団法人くまもとテクノ産業財団がプログラム運営の中核機関となり、大学等の基礎的研究により創出された技術シーズを基にした試作品の開発等、新技術・新産業の創出に資する企業化に向けた研究開発を実施するものです。分担者として参加	機械	広橋光治 教授 糸井貴田 助教	http://www.kumamoto-create.net/haiimeni/index.html	18年度- 進行中
先進的の地域基盤技術を活用した次世代型抗体創薬システム及び診断用デバイスの開発事業化	共同研究 産業振興	千葉・東葛エリア・都市エリア産学官連携促進事業(発展型)として実施	メディカルシステム, 情報画像	三宅洋一 教授 中口俊哉 准教授 津村徳道 准教授		20年度-22 年度
千葉市産業振興財団事業可能性評価委員	産業振興	財団法人千葉市産業振興財団の事業可能性評価委員会の委員として、地元企業の事業化支援補助の採択案件選定に参加している。	電気電子	佐藤之彦 教授		19年度- 進行中
JST主催 千葉大学新技術説明会	産業振興	大学発のライセンス可能な技術(未公開特許)を企業向けに発表。発表者と関心を持つ企業の個別相談の場を設け、共同研究、技術移転などへの展開を目指す。出願特許に関する技術を発表。	電気電子, 情報画像	伊藤智義 教授, 関屋大雄 准教授, 工藤一浩 教授		22年度- 進行中
千葉市新行政情報ネットワークシステム(CHAINS)の入札・調達における技術評価	産業振興	千葉市総務局情報統括部情報システム課からの依頼により、千葉市の今後5年間の情報通信基盤である新行政情報ネットワークシステム(CHAINS)に関し、一般競争入札による調達を行う際のシステムの技術評価を行った。	情報画像	阪田史郎 教授		24年度
第17回『千葉県元気印企業大賞』奨励賞受賞	大学発ベンチャー	デザイン心理学研究室の研究成果を基に設立された(株)BB STONEデザイン心理学研究所(技術顧問:日比野治雄教授)が第17回「千葉県元気印企業大賞」(主催:フジサンケイ ビジネスアイ)にて奨励賞を受賞した。	デザイン	日比野治雄 教授	http://www.chibakogvo-bank.co.jp/houjin/genki/ichiran.html	23年度
平成24年度『グッドデザイン賞』受賞	大学発ベンチャー	デザイン心理学研究室の研究成果を基に設立された(株)BB STONEデザイン心理学研究所(技術顧問:日比野治雄教授)がダイキン工業(株)と共同でデザインしたエアコン「ラクエア」が、平成24年度のグッドデザイン賞を受賞しました。	デザイン	日比野治雄 教授	http://www.g-mark.org/award/describe/38846	24年度
ガスエンジンコンソーシアム活動	大学発ベンチャー	森吉研究室の研究成果を基に設立されたサステナブルエンジンリサーチセンター(株)(取締役:森吉泰生教授)が、ガス会社など5社と次世代モビリティパワースource研究センターで「安定・高効率に熱電供給を実現できる次世代天然ガスコージェネシステムの技術開発」コンソーシアムを3年間の計画で開始した。	機械	森吉泰生 教授		25年度- 進行中
千葉県中小企業団体中央会における専門家派遣	産業振興	千葉県市原市の(株)昭和電業社に対し、千葉県中小企業団体中央会の専門家派遣としてパワーコンバータの高効率化について技術指導を行った。	情報画像	関屋大雄 准教授		25年度- 進行中
C-squareプロジェクト	産業振興	「千葉県産業振興財団、東葛エリア産学官連携促進事業、国立がん研究センター東病院、千葉大学附属病院」の共同プロジェクト。医療器機開発を行い、千葉県内の企業から製造、販売を行う。手術用椅子の開発を県内企業と行っている。	メディカルシステム	川平 洋准教授		26年度
成果を地域に発信－公開講座や社会教育－						
千葉大の「地球環境問題」に対する取り組み	公開講座	千葉大において地球環境問題に取り組んでいる研究者、共同研究企業、環境ISO学生委員会など6名による講演を行った。平成20年5月8日	地域社会連携推進委員会	川瀬貴晴 教授 他 多数		20年度
工学部公開講座「未来をひらく都市と建築の環境技術」	公開講座	環境問題の解決のために、工学が果たす役割は大きい。この公開講座では、私たちが暮らす都市と建築における環境問題をテーマとして、その問題に対する技術的な取り組みをわかりやすく解説した	建築 都市環境システム	野口博 工学部長 川瀬貴晴 教授 小倉裕直 教授		21年度
第20回高専プログラミングコンテスト特別講演	公開講座	ロボットコンテストと並ぶ高専の2大大会であるプログラミングコンテストが平成21年度に木更津高専で開催され、千葉県を代表して特別講演を行った。	電気電子	伊藤智義 教授		21年度
千葉市教育・文化・スポーツ等功労者表彰	社会教育	情報処理学会・電子情報通信学会主催の「GPUチャレンジ2009」で自由課題部門最優秀賞を受賞した功績が千葉市の名声を高めたと評価されて研究室が表彰を受けた。46件の表彰のうち、文化部門では唯一の受賞だった。	電気電子	伊藤智義 教授		21年度
千葉県内大学による卒論発表大会	研究発表会	(社)千葉県情報サービス産業協会の主催する卒業研究発表会で「カラー電子ペーパー」と題する研究発表を行った。	画像科学科	北村孝司 教授		21年度
工学部公開講座「竹藁と遊ぶ意味－千葉の生活の知恵を活かして－」	公開講座	「土から生まれ」「土に帰る」身近な自然素材に関する知識を深め、実際に素材に触れ、検索することにより、自然との共生の意義を理解、体感する機会を提供した。	デザイン	鈴木直人 教授 植田憲 准教授 寺内文雄 准教授 佐藤 公信准教授		22年度
公開シンポジウム頑張る「現場」－地域活性化のこれから－	公開シンポジウム	地域人口の減少、少子高齢化、そして経済の停滞が地方の疲弊を生み、地域格差を嘆く声があふれている。自分たちの地域をどのように豊に不安のないものにするかについて「頑張る－現場－地域活性化のこれから」をテーマにこの問題に取り組んだ。	デザイン	佐藤公信 教授		22年度
ちば戦略的デザイン活用塾 無料セミナー	公開講座	デザイン科学専攻デザイン文化計画研究室の地域連携・振興活動に関する紹介を行った。	デザイン	鈴木直人 教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	22年度
サイエンスアゴラ2010 閉幕セッション「未来へつなぐ科学のひろば ～サイエンス、社会、そして人」パネリスト	公開講座	サイエンスを一般に広める目的でJSTを中心に開催されている「サイエンスアゴラ」で、本年度、閉幕セッションのパネリストを務め、情報発信を行った。	電気電子	伊藤智義 教授		22年度
放送大学	市民講座	放送大学が広く市民に公開する公開講座を担当した。[ナノが未来を拓く]-量子力学・化学の諸現象と日常生活の関わりを解説。	ナノサイエンス	上野英雄 教授		22年度
ちばデザイン交流展	公開展示会	デザイン科学専攻デザイン文化計画研究室の地域連携・振興活動に関するパネル展示を行った。	デザイン	鈴木直人 教授 植田憲 教授	http://hist1.ti.chiba-u.jp/	23年度

ちばデザイン交流会	公開展示会	人間生活工学に基づいた製品や環境のデザイン事例のパネル展示を行った。	デザイン	下村義弘 准教授		23年度
寺田寅彦とサイエンスの今「身の回りの科学から震災まで」	市民講座	「科学者の自由と勇氣」と題して、震災を契機に科学者の社会的な立場について考察する市民向けの講演を行う。	電気電子	伊藤智義 教授		23年度
千葉市科学館「サイエンスセミナー」	公開講座	「フレキシブル有機エレクトロニクス開発最前線」というタイトルで、高校生以上を対象とした公開講座を行う。	電気電子	工藤一浩 教授		23年度
日本Androidの会 千葉支部 勉強会	公開講座	千葉大学内において、日本Androidの会 千葉支部 勉強会を開催し、運営協力を行った。ゲーム開発の体験型学習を行い、本学 科OBが講師として参加した。(参加者50名:学内参加9名)	情報画像	黒岩眞吾 教授		23年度
工学部公開講座「自然に学ぶものづくりー「生物規範」機械工学」	公開講座	生物は、長い年月に渡る自然淘汰と進化を経て、環境と調和しながら生きるための多くの優れた機能を持ち得たと考えられる。それを規範として新しい機械工学のあり方について紹介する。	デザイン	劉浩教授 他3名		23年度
放送大学 面接授業	市民	「10億分の1メートルの世界」のタイトルでの授業	ナノサイエンス	上野信雄 教授, 石井久夫教授, 鷲尾聡 准教授	http://www.ouj.ac.jp/?waad=IBWV3E3a&gclid=CObJu4iOvqLICEOLzbwgdQiu_g	21年度-25年度
科学ライブショー「ユニバース」	社会教育	東京・科学技術館にて、物理・化学のシミュレーションの演示や、様々な分野の研究者によるゲスト講演の司会案内を行うことで、子供から大人まで幅広い世代の科学リテラシー向上を目指す。	共生応用化学	野本知理 助教	http://universe.chimons.org/	22年度ー進行中
千葉フォーラム	市民講座	総務省関東総合通信局、千葉県、千葉大学、関東IT推進NPO連絡協議会の共催によるフォーラム。平成21年度6月5日に実施。平成21年度のテーマは、放送のデジタル化に伴う生活の質の向上を考察する。	情報画像	阪田史郎 教授	http://www.npcknowledgenetwork.org/	20年度-24年度
千葉大学サイエンスパークセンター(CSPC)技術講習会	技術講習会	「有機デバイスの基礎と応用」というタイトルで、千葉県内企業技術者を対象とした技術講習会を行う。	電気電子	工藤一浩 教授		24年度
サイエンスカフェ「第一回きぼーる千葉かがく会議」	市民講座	同会議の一つとして設定された「千葉市のエネルギー政策と未来を話し合うワークショップ」にて、国レベルで議論されているエネルギー政策を、千葉に置き換え、身近な問題として自ら考えるという設定のもと、議論のベースとなる電気エネルギーの現状について参加した市民を対象にレクチャーを行った。平成24年10月7日	電気電子工学科	近藤圭一郎 准教授		24年度
千葉大学生涯学習友の会「けやき倶楽部」公開シンポジウム	公開シンポジウム	地域住民を対象とした「地震の活動期に備える防災行動力」というタイトルの公開シンポジウムにてパネルディスカッションを行った。	都市環境システム	中井正一 教授 関口徹 助教		24年度
第2回千葉大学産学官連携イノベーションフォーラム	公開講座	「医学教育・訓練用教材 - メディカルシミュレータ -」というタイトルで、地元企業を対象として公開講座を行った。	メディカル	中口俊哉准教授		24年度
千葉市科学館市民公開講座	公開講座	「知っておきたい診断・治療の現状と最新技術」というタイトルで、市民を対象として公開講座を行った。	メディカル	山口匡准教授, 全教員		24年度
医療機器および支援技術についての技術講習会	技術講習会	TLO新産業創生プロデュース活動として「医工学・福祉」に関するテーマで千葉県内企業技術者を対象とした技術講習会を行った。	メディカル	山口匡准教授, 中口俊哉准教授		24年度
NIRSテクノフェア2012	公開展示会	「放射線科学の新たな展開のために」をサブテーマとして、各機関の技術者や研究者が携わっている技術や研究に関する実験機器や装置を展示して、展示者と参加者相互の情報交換によりコラボレーションの推進を行った。	メディカル	菅幹生准教授, 齊藤一幸准教授, 中村 亮一准教授, 山口 匡准教授,	http://www.nirs.go.jp/information/event/2012/techno2012/thema.html	24年度
我孫子市鳥の博物館 鳥博セミナー	市民講座	「空飛ぶハチドリのはみツー飛行生物のエアロダイナミクス - 」というタイトルで、「我孫子市鳥の博物館」にて一般市民を対象とした公開講座を行った。	機械	田中博人 特任助教	http://strix.in/blog/index.php?itemid=515	24年度
JSTサイエンスアゴラ2013	公開展示	生物飛行研究のパネル展示と羽ばたき飛行ロボットのデモ展示を、「サイエンスアゴラ2013」の展示ブースにて行った。	機械	劉浩 教授, 田中博人 特任助教		24年度
科学技術館 体験ワークショップ	市民講座	「ハチドリ飛行のはみツー羽ばたきロボットが空を飛ぶ! ?」というタイトルで、科学技術館2014年春休み特別展「4億年、昆虫との手紙展。 バイオミメティクスーいきものに学ぶイノベーション」中の小学生向け体験ワークショップを行った。	機械	田中博人 特任助教	http://www.jsf.or.jp/info/2014/04/post_771.php	24年度
科学技術館 2014年春休み特別展「4億年、昆虫との手紙展。 バイオミメティクスーいきものに学ぶイノベーション」	公開展示	生物飛行研究の説明パネルと羽ばたき飛行ロボットの展示を、科学技術館2014年春休み特別展「4億年、昆虫との手紙展。 バイオミメティクスーいきものに学ぶイノベーション」内の展示ブースで行った。	機械	劉浩 教授, 田中博人 特任助教	http://www.jsf.or.jp/info/2014/04/post_771.php	24年度
千葉市科学フェスタメインイベント特別企画「体験しよう!最先端技術がもたらす未来の医療」	公開展示	千葉市科学館7F企画展示室にて、最新の医療機器及び研究成果の体験展示を行った。(平成25年10月13日)	メディカル	中村亮一准教授, 山口匡准教授, 川平洋准教授, 伊藤公一教授, 五十嵐辰男教授, 菅幹生准教授, 齋藤一幸准教授, 中口俊哉准教授, 川村和也助教, 大西峻助教, 吉田憲司特任助教		25年度
ちば新事業創出ネットワーク 平成25年度第4回セミナー・補助金等説明会	セミナー	ITを活用したビジネスイノベーションの成功事例として「見えない流れを視る技術の産業展開」というタイトルで千葉県内企業者を対象とした講演を行った。	機械	武居昌宏 教授	http://www.ccjc-net.or.jp/contents_detail.php?frmId=1562	25年度
佐倉市立中央公民館・市民カレッジ	市民講座	生涯教育の一環として、「住民参加のまちづくり」というテーマで講義を行った。	都市環境システム	森永良丙 准教授	http://www.city.sakura.lg.jp/cmsfiles/contents/0000006/6542/2nen.pdf	24年度-
千葉県の企業との共同研究					教員からの申告内容	
医用画像診断装置の超高速演算装置の研究	共同研究	株式会社日立メディコ	電気電子	伊藤智義 教授		19年度-20年度
ナノウイスキーの電子源への応用	共同研究	双葉電子工業株式会社	画像科学	星野勝義 教授		19年度-20年度
組立ロボットの研究開発	共同研究	双葉電子工業株式会社	機械	野波健蔵 教授	http://mec2.tm.chiba-u.jp/~nonami/	19年度-20年度
スラッジのリサイクル方法をめぐる研究	共同研究	株式会社内山アドバンス	建築	岡田哲史 准教授		20年度
食品凍結における鮮度維持のためのパルス磁場応用研究	共同研究	株式会社 アビー	メディカルシステム	岩坂正和 准教授		20年度
音声認識に関する共同研究	共同研究	株式会社シーネット 音声認識技術の実用化に関してコンパクトで雑音に対し頑健な音声認識システムの研究開発を行う。	情報画像	黒岩眞吾 教授	http://www2.cross-docking.com/	20年度

千葉県知的財産戦略支援事業	産業振興	新規開発装置の性能評価を目的として、画質を主とした評価方法の検討、主観評価実験の実施、評価・解析システムの構築などを行った。	情報画像	中口俊哉 助教 津村徳道 准教授 三宅洋一 教授		20年度
先進的地域基盤技術を活用した次世代型抗体創薬システム及び診断用デバイスの開発事業化	共同研究 産業振興	千葉・東葛エリア・都市エリア産学官連携促進事業(発展型)として実施	メディカルシステム・ 情報画像	三宅洋一 元教授 津村徳道 准教授 中口俊哉 准教授		20年度-22 年度
液晶配向材の開発	共同研究	チッソ石油化学株式会社 五井研究所	共生応用化学	谷口竜王 准教授	題目・相手先名掲載可	20年度-22 年度
梨の収穫時期判定方法に関する研究	共同研究 産業振興	千葉県農林総合研究センターと共同で、梨の熟度と表面色の計測手法の検討、計測実験、それらの関係解析を行い、より簡便かつ正確に収穫時期を判定する手法を開発する。	メディカルシステム・ 情報画像	中口俊哉 准教授 津村徳道 准教授 三宅洋一 元教授		20年度-22 年度
情報・エネルギーに関する材料研究	共同研究	JNC株式会社(旧 チッソ株式会社)	画像科学	星野勝義 教授		23年度
瓦材を活用したデザイン開発及びリサイクル商品の研究	共同研究	新東株式会社	建築	岡田哲史 准教授		23年度
乗降促進音のデザイン		(株)千葉都市モノレール	デザイン	佐藤公信 教授		23年度
インターネット利用高信頼管理システム	共同研究	株式会社安西製作所	情報画像	北神正人 准教授 難波一輝 助教	題目・相手先名掲載可	18年度-進 行中
音声翻訳技術に関わる研究指導・共同研究	共同研究	東京ベイ通信株式会社 携帯型音声翻訳システムの開発に関する研究指導を行う(2011年度は評価実験の為共同研究を実施)	情報画像	黒岩真吾 教授	http://www.tokyobav.co.jp/ worldphone/	20年度-進 行中
情報家電機器間の連携制御を支援する無線ネットワークの研究	共同研究	シャープ株式会社	情報画像	阪田史郎 教授		20年度-24 年度
失語症者向け言語訓練装置の開発支援・共同研究	開発指導	株式会社エスコアール 2010年度に行った失語症者向け言語訓練装置の開発に関する共同研究の延長で研究開発の指導を続けている	情報画像	黒岩真吾 教授 堀内靖雄 准教授	http://escor.co.jp/	21年度-進 行中
梨の収穫時期判定方法に関する研究	共同研究 産業振興	千葉県農林総合研究センターと共同で、梨の熟度と表面色の計測手法の検討、計測実験、それらの関係解析を行い、より簡便かつ正確に収穫時期を判定する手法を開発する。	メディカルシステム	中口俊哉准教授		23年度-進 行中
Cu/PIの接合界面機械特性の評価	共同研究	(株)新日鉄化学	機械	胡寧 教授		24年度
室内照明で機能する光触媒の研究	共同研究	千葉県産業支援技術研究所	機械	魯云 准教授		24年度-進 行中
生体内微小循環観察装置の開発	共同研究	マイクロテックニチオン	メディカル	羽石秀昭 教授		25年度
陽子線治療用ボラスの3次元画像計測による高精度品質保証体制構築に向けた研究開発	共同研究	株式会社藤井製作所	情報画像	眞鍋佳嗣 教授		26年度
国土利用計画		千葉県国土利用計画地方審議会 委員(H25～)	都市環境システム	中井正一 教授		25年度-進 行中
建築分野への人工知能研究導入	アドバイザー	(株)竹中工務店 技術研究所構造部 応用数理G(千葉県印西市)	都市環境システム	荒井幸代 准教授		25年度-進 行中

II. 千葉大学と小中高との連携

活動名・事業名	区分	活動や事業の概要	工学部の学科名	担当者	URL	年度
児童・生徒とのふれあいを通した理科啓発活動						
中学生のビデオ映像制作による景観学習	児童生徒	千葉市内中学校の総合学習との連携等による中学生の景観学習ワークショップ。活動主体:都市環境システム学科・都市環境デザイン分野。連携団体等:千葉市・都市景観市民フェスタ実行委員会。対象者/人数:中学生/毎回30人程度。実施期間:平成14年度～現在に至る。	都市環境システム	北原理雄 教授		14年度-20年度
江戸川区小松川第1中学校改修	中学生	中学生と一緒に学校改修プロジェクトを行う。研究室主体で中学生と企画、デザイン、施工。千葉大教育学部とも連携。	建築	柳澤要 准教授		19年度-20年度
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)への支援	高校生	SSHへの支援体制として、運営指導委員会を設置し、千葉県下の高校での運営指導、ならびに千葉大学の研究室見学、講義参観等の支援を行う。	先進科学センター 高大連携企画室	教務課 古池宏羊 専門職員	http://rikai.jst.go.jp/zoshin/about/about_sshs.php	19年度-20年度
千葉市科学館「機械の知能ってなんだろう？」	児童生徒	千葉市科学館における小中学生児童を招いての企画講座の開催。平成21年3月28日(土)、第1回:11:00~12:00、第2回:14:00~15:00、定員各回20名	機械	大川一也 助教	http://svshp.tm.chiba-u.jp/~okawa/	20年度
実験工作教室	児童生徒	千葉県立現代産業科学館における小学生児童を招いてのものづくり教室の開催。平成20年8月22日(金)、第1回:10:30~、第2回:13:30~、定員各回20名	デザイン	植田憲 准教授		20年度
サイエンスショー	児童生徒	千葉県立現代産業科学館における小学生児童を招いてのサイエンスショーの開催。平成20年8月31日(日)、第1回:10:30~、第2回:13:30~、定員各回120名	デザイン	下村義弘 准教授	http://www.chiba-muse.or.jp/SCIENCE/home.html	20年度
クリスマスレクチャー	児童生徒	千葉県立現代産業科学館における小学生児童を招いての、脳波や筋電図によるヒューマンマシンインタフェースに関するクリスマスレクチャーの開催。平成20年12月23日(火)13:00~、定員70名	デザイン	下村義弘 准教授	http://www.chiba-muse.or.jp/SCIENCE/home.html	20年度
理科わくわくワークショップ「声の実験」	児童生徒	千葉県大網白里 町児童館にて理科わくわくワークショップ「声の実験」という科学教室を一般児童対象に実施。そのときの様子が、経済産業省資源エネルギー庁発行の広報誌「夢」No.27(2009年11月)に記載。	電気電子	大矢浩代 助手	http://www.enepa.ne.jp/koho/pdf/vume2009_27_03.pdf	21年度
千葉県科学・先端技術体験スクール	中学生・高校生	大学見学・実習(8月5日)	メディカル	五十嵐辰男 教授 山口匡 准教授		21年度
千葉県科学・先端技術体験スクール	中学生・高校生	大学見学・実習(8月4日)	メディカル	五十嵐辰男 教授 山口匡 准教授		22年度
附属中学校からの大学見学	中学生	千葉大学附属中学校2年生に対して、研究室見学、大学案内を行った。	電気電子	伊藤智義 教授		22年度
千葉市科学館「わくわく2010」への協力	児童生徒	千葉市科学館にて、中学生を対象に科学教室を開催。平成22年10月23日(土)13:00~15:00 「機械の感覚受容器~さまざまなセンサーとその利用」	機械	大川一也 助教		22年度
第12回 火星ローバーコンテスト in 千葉	児童生徒	千葉市科学館にて、小中学生を対象とする火星ローバーコンテストに協力。審査員として、作品の審査とアドバイスを。平成22年11月27日(土)9:00~17:30	機械	大川一也 助教		22年度
「家電の自動化、昨日今日明日(仮)」	高校生	千葉市科学館にて、「これまで」と「これから」をくらべて最新の研究と技術がどこをどうかえたかについて講演する(開催日時は未定)	機械	大川一也 助教		23年度
第13回 火星ローバーコンテスト in 千葉	児童生徒	千葉市科学館にて、小中学生を対象とする火星ローバーコンテストに協力。審査員として、作品の審査とアドバイスを。平成23年12月17日(土)9:00~17:30	機械	大川一也 助教		23年度
千葉市科学館「わくわく2011」への協力	児童生徒	10月22日に、「わくわく2011」というプログラムの一つとして講演会を実施した。	共生応用化学	斎藤恭一 教授		23年度
千葉市科学館「科学フェスタ」	中学生・高校生	千葉市科学館にて、大学と市民のフォーラムの一つとして「意外と知らない家電のかしこさ」を講演。平成23年12月3日(土)13:30~15:30	機械	大川一也 助教		23年度
千葉市科学館「科学フェスタ」	中学生・高校生	「未来の3次元画像技術とそれにまつわるコンピュータのお話」というタイトルで、小学校上級生以上を対象とした公開講座を行う。	電気電子	伊藤智義 教授 下馬場朋禄 准教授		23年度
「千葉はロケットの発祥の地」ロケットについての体験会	児童生徒	千葉大学西千葉キャンパスで、日本のロケット開発や仕組みについての説明。また、ロケットをつくってとばします。対象:小・中学生。毎年実施しており、平成20年7月12日に第6回目を開催した。「ちばサイエンスの会」の副理事長として活動を主導している。	電気電子	鷹野敏明 准教授	http://chibasai.pro.tok2.com/	15年度-進行中
サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)への支援	高校生	SPPへの支援体制として、千葉県下の高校への講義、ならびに千葉大学の研究室見学等の支援を行う。	先進科学センター 高大連携企画室	教務課 古池宏羊 専門職員	http://spp.ist.go.jp/	19年度-進行中
画像科学サマースクール	高校生	高校生のためのサマースクール「ディスカバー画像科学」を開催する。	画像科学	小林範久 教授 画像科学教員	http://www.tp.chiba-u.jp/ss/index.html	20年度-進行中
高専からのインターンシップ受け入れ	高専生	9月の夏休みに、木更津高専の4年生をインターンシップとして受け、研修指導を行うとともに交流を深めている。平成21年度4名、平成22年度5名、平成23年度2名。	電気電子	伊藤智義 教授		23年度-進行中
ソーラーデカスロンヨーロッパ2012環境住宅授業	小学生・中学生	環境住宅の紹介やソーラーパネルを使った工作物などをつくること通して、電力問題や環境問題などを小中学生とともに考えていく授業を行う。市原市立五井小学校(予定)	建築・教育学部	鈴木弘樹 助教 ソーラーデカスロン参加学生		

千葉市未来の科学者育成プログラム	中学生・高校生	「医療を支える『医療機器』の最先端を見よう・知ろう・体験しよう」と題して最新の医療機器及び研究成果の体験型教育を行った。(平成25年7月30日)	メディカル	中村亮一准教授, 山口匡准教授, 川平洋准教授, 大西峻助教, 吉田憲司特任助教, 五十嵐辰男教授, 中口俊哉准教授	http://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogai_gakushu/futurescientist.html	25年度
千葉県夢チャレンジ体験スクール	中学生・高校生	「医療を支える『医療機器』の最先端を見よう・知ろう・体験しよう」と題して最新の医療機器及び研究成果の体験型教育を行った。(平成25年8月6日)	メディカル	中村亮一准教授, 山口匡准教授, 川平洋准教授, 大西峻助教, 川村和也助教, 吉田憲司特任助教, 五十嵐辰男教授, 中口俊哉准教授	http://www.pref.chiba.lg.jp/kvouiku/shougaku/career/taikenschool.html	25年度
千葉市未来の科学者育成プログラム	中学生・高校生	「医療を支える『医療機器』の最先端を見よう・知ろう・体験しよう」と題して最新の医療機器及び研究成果の体験型教育を行った。(平成26年8月5日)	メディカル	中村亮一准教授, 山口匡教授, 川平洋准教授, 大西峻助教, 吉田憲司特任助教, 五十嵐辰男教授, 中口俊哉准教授	http://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogai_gakushu/futurescientist.html	26年度
千葉県夢チャレンジ体験スクール	中学生・高校生	「医療を支える『医療機器』の最先端を見よう・知ろう・体験しよう」と題して最新の医療機器及び研究成果の体験型教育を行った。(平成26年7月29日)	メディカル	中村亮一准教授, 山口匡教授, 川平洋准教授, 大西峻助教, 川村和也助教, 吉田憲司特任助教, 五十嵐辰男教授, 中口俊	http://www.pref.chiba.lg.jp/kvouiku/shougaku/career/taikenschool.html	26年度
第16回 火星ローバーコンテスト in 千葉	児童生徒	千葉市科学館にて, 小中学生を対象とする火星ローバーコンテストに協力。審査員として, 作品の審査とアドバイスを。平成26年12月6日(土)9:00~17:30	機械	大川一也 助教		26年度
理数教育の高度化に向けた活動(教諭等を対象とした活動)						
理学教育連携調査委員会	研修指導	県内外の高校教諭と理学教育に関して、広く意見交換を行う。	先進科学センター	教務課 古池宏羊 専門職員	http://koudai.cfs.chiba-u.ac.jp/	11年度-22年度
理科主任研究評議会	高校理科 教員	研究室紹介・研究内容説明 (平成22年8月19日) 事業の一員として	画像科学	小林範久 教授		22年度
千葉県高等学校理科部会化学分科会;特別講演	高校理科 教員	「理科こそ国語, 文系こそ理科が大事」という題目で, 高校の理科の先生, 約70名を前に講演をおこなった。	共生応用化学	斎藤恭一 教授		22年度
高大接続推進委員会	研修指導	県内外の高校教諭と理学教育を中心とした高大接続事業に関して、広く意見交換を行う。	高大連携企画室	工藤一浩 室長	http://koudai.cfs.chiba-u.ac.jp/	23年度
ちば科学元気プロジェクト	地域づくり	次世代の学力育成を目指して、産官学・マスメディアの連携による理数教育の高度化を推進し、学生の裾野を広げる。	先進科学センター 高大連携企画室	五十嵐和廣 特任教授	http://genki.cfs.chiba-u.ac.jp/	18年度-進行中
理学教育高度化推進委員会	研修指導	県内外の高校教諭と理学教育を中心とした中等高等教育に関して、広く意見交換を行う。	先進科学センター	教務課 古池宏羊 専門職員	http://koudai.cfs.chiba-u.ac.jp/	19年度-進行中
理科コンクールや発表会を支援する活動						
第4回高校生理科研究発表会	高校生	高校生の理科研究発表会の審査 (平成22年9月25日) 事業の一員として	画像科学	小林範久教授		22年度
第5回高校生理科研究発表会	高校生	高校生の理科研究発表会の審査 (平成23年9月24日) 事業の一員として	共生応用化学	桑折道済 助教 小島隆 助教		23年度
第6回高校生理科研究発表会	高校生	高校生の理科研究発表会の審査 (平成24年9月29日) 事業の一員として	工学部他	工藤一浩 教授 他4名		24年度
数理学コンクール	高校生 児童生徒	科学と技術の先端を担う若者の才能を発掘し育成する。物理や数学の本質に根ざした独創的・ユニークな発想の育成を行う。	先進科学センター	井宮淳 教授	http://koudai.cfs.chiba-u.ac.jp/contest.html	10年度-進行中
高校生理科研究発表会	高校生	高校生の理科に関する先進的・独創的な研究に発表の場を提供し、理数教育の高度化推進と裾野の拡大を図る。平成19年から毎年開催。	高大連携企画室	五十嵐和廣 特任教授	http://koudai.cfs.chiba-u.ac.jp/contest.html	19年度-進行中
ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ(JSEC2010)	高校生	朝日新聞社主催の高校生科学技術チャレンジ(JSEC)の審査委員代表(委員長): JSECを朝日新聞社と協力して計画・立ち上げ, 第1回目のJSECより委員長を継続。上位入賞者を米国での世界大会(ISEF)に出場させるためISEFに引率。	ナノサイエンス	上野信雄 教授	http://www.asahi.com/ad/clients/10jsec/	13年度-進行中
千葉大学教員による出張講義、出前授業						
北海道札幌開成高等学校	高校生	北海道札幌開成高等学校おいての出前授業を行う。	先進科学センター	教務課 鈴木政司 専門職員	http://www.cfs.chiba-u.ac.jp/index.html	14年度-22年度
佐野日大高等学校SSH特別授業:「科学英語を読み書きする方法」	高校生・先生	ノーベル賞受賞論文を題材にして, 科学英語の読み方と書き方を3時間, 解説した。	共生応用化学	斎藤恭一 教授		20年度
埼玉県立春日部高等学校:進路講演会	高校生	「理科こそ国語, 文系こそ理科が大事」という題目で90分の講義を行った。	共生応用化学	斎藤恭一 教授		20年度
東京都立小松川高等学校:模擬講義	高校生	「理系こそ国語, 文系こそ理科が大事」という題目で100分の講義を行った。	共生応用化学	斎藤恭一 教授		20年度
清真学園高等学校:模擬講義	高校生・先生	「理科こそ国語, 文系こそ理科が大事」という題目で90分の講義を行った。	共生応用化学	斎藤恭一 教授		20年度
東京都立城東高等学校:模擬講義	高校生・先生	「流れを見る」という題目で60分の講義を行った。	機械	三神史彦 助教		20年度
千葉県立幕張総合高等学校:進路説明会	高校生・先生	高校主催の個別進路説明会で工学部の説明を行った。	機械	三神史彦 助教		20年度
銚子市立銚子高校。大学模擬授業	高校2年生	「色の不思議と次世代ディスプレイ」という題目で90分の講義を行った。	画像科学	小林範久 教授		20年度
こども大学 in 千葉大学	小学4~6年生	研究室の見学のあと、カラートナーを使ったスタンプづくりの実習を行った。	画像科学	北村孝司 教授		20年度
千葉県立大多喜高校	高校生	11月5日に模擬講義を実施	画像科学	星野勝義 教授		20年度
千葉県立千葉東高等学校(来校)	高校生	2008年8月20日に、高校生(千葉東高)大学体験インターンを担当して、研究室見学を実施し最後に簡単な講義をし、アンケート提出をお願いした。	ナノサイエンス	落合勇一 教授 青木伸之 准教授		20年度

平成21年度						
新潟県南魚沼市立後山小学校	児童生徒	9月2日に模擬講義を実施:『空気と遊ぶ-無尾翼紙飛行機の飛行体験』と題して体験実習を行った。	デザイン	久保元徳 教授 田内 隆利 助教		21年度
千葉県立成東東高校	高校生	6月16日に模擬講義を実施	メディカル	五十嵐辰男 教授		21年度
東京都立城東高校	高校生	6月17日に模擬講義を実施	画像科学	宮川信一 准教授		21年度
私立富士見高校(東京都)	高校生	6月に模擬授業を実施	情報画像	堀内隆彦准教授		21年度
都立小松川高校	高校生	10月7日に模擬授業を実施	電気電子	石谷善博 教授		21年度
新潟県立長岡高校	高校生	8月5日に模擬授業を実施	共生応用化学	藤浪真紀 教授		21年度
清真学園高校(茨城県私立)	高校生	7月11日に模擬授業を実施	共生応用化学	一國伸之 准教授		21年度
千葉県立長生高校	高校生	11月4日に模擬授業を実施	画像科学	星野勝義 教授		21年度
群馬県立太田高校	高校生	10月3日に模擬授業を実施	共生応用化学	上川直文 准教授		21年度
千葉県立幕張総合高校	高校生	11月2日に模擬講義を実施	情報画像	黒岩真吾 教授		21年度
茨城県私立水城高校	高校生	9月26日に模擬講義を実施	電気電子	劉康志 教授		21年度
開智中学・高等学校	高校生	10月10日に模擬講義を実施	画像科学	椎名達雄 准教授		21年度
東京都私立大妻高校	高校生	11月18日に模擬講義を実施	建築	岡田哲史 准教授		21年度
埼玉県立越谷北高校	高校生	11月30日に模擬講義を実施	情報画像	堀内隆彦准教授		21年度
埼玉県立越谷北高校	高校生	11月30日に模擬講義を実施	建築	和泉信之 教授		21年度
埼玉県立越谷北高校	高校生	11月30日に模擬講義を実施	電気電子	劉康志 教授		21年度
栃木県立宇都宮女子高校	高校生	10月22日に模擬講義を実施	画像科学	椎名達雄 准教授		21年度
千葉県立君津高校	高校生	12月15日に模擬講義を実施	画像科学	椎名達雄 准教授		21年度
千葉県立東金高校	高校生	12月18日に模擬講義を実施	都市環境	丸山喜久 准教授		21年度
埼玉県立春日部高校	高校生	10月14日に模擬講義を実施	共生応用化学	齋藤恭一 教授		21年度
千葉県立長生高校。進路講演会	高校生	「理科こそ国語、文系こそ理科が大事」という題目で90分の講義を行った。	共生応用化学	齋藤恭一 教授		21年度
千葉県私立麗澤高校	高校生	10月1日に模擬講義を実施	都市環境	丸山喜久 准教授		21年度
千葉県立東葛飾高校	高校生	11月18日に模擬講義を実施	画像科学	星野勝義 教授		21年度
土浦日本大学中等教育学校	中学校	11月18日に模擬講義を実施	都市環境	近藤吾郎 准教授		21年度
神奈川県立座間総合高校:模擬講義	高校生	「色の不思議と次世代ディスプレイ」という題目で90分の講義を行った。	画像科学	小林範久 教授		21年度
銚子市立銚子高校。大学模擬授業	高校2年生	(10月の予定)	画像科学	小林範久 教授		21年度
私立専大松戸高校	高校生	進路相談会 (平成21年6月26日)	画像科学	小林範久 教授		21年度
茨城県立日立北高校	高校生	学部・学科説明 (平成21年10月27日)	画像科学	小林範久 教授・他		21年度
札幌市立札幌開成高校	高校生	模擬講義2コマ (平成21年10月29日)	先進科学センター・ 画像科学	小林範久 教授		21年度
北海道立滝川高校	高校生	模擬講義2コマ (平成21年10月30日)	先進科学センター・ 画像科学	小林範久 教授		21年度
鴨川開成高校(来校)	高校生	2009年1月10日に、研究室で開講の「千葉大学ナノテクノロジー講座」なるタイトルで、ナノテクノロジーに関する講義(午前)と実習(午後)を行った。	ナノサイエンス	落合勇一 教授 青木伸之 准教授		21年度
新潟県立三条高等学校	高校生	12月4日に模擬講義を実施	電気電子	佐藤之彦 教授		21年度
千葉市科学館研修会	高校教員	特別講演	ナノサイエンス	上野信雄 教授		21年度
平成22年度						
茨城県立太田第一高等学校	高校生	10月29日に模擬講義を実施	建築	高橋徹 教授		22年度
千葉県立船橋東高等学校	高校生	10月5日(火)に、機械工学科の説明(学べる内容・特色、研究内容、学習環境、入試制度、卒業生の進路等)を行った。	機械	三神史彦 准教授	http://www.em.eng.chiba-u.in/~lab9/	22年度
埼玉県立越谷北高校	高校生	22.11.29 模擬講義	機械	並木明夫 准教授		22年度
千葉県立船橋高校	高校生	学部・学科説明 (平成22年5月27日)	画像科学	小林範久 教授		22年度
埼玉県立大宮高校	高校生	学部・学科説明 (平成22年6月21日)	画像科学	小林範久 教授		22年度
千葉県立佐原高校	高校生	学部・学科説明 (平成22年8月23日)・研究室見学	画像科学	小林範久教授・椎名達雄准教授・小関健一准教授他		22年度
東京都立科学技術高校	高校生	学部・学科説明 (平成22年9月29日)・研究室見学	画像科学	小林範久教授・中村一希助教・宮本克彦助教		22年度
札幌市立札幌開成高校	高校生	模擬講義2コマ (平成22年11月4日)	先進科学センター・ 画像科学	小林範久教授		22年度
北海道立札幌南高校、札幌東高校、札幌北高校	高校進路指導教員	画像科学科の紹介と進路情報交換 (平成22年11月5日)	先進科学センター・ 画像科学	小林範久教授		22年度
銚子市立銚子高校	高校生	職業人講話 2コマ (平成22年11月11日)	画像科学	小林範久教授		22年度
千葉県立袖ヶ浦高校	高校生	学部・学科説明 (平成22年11月16日)	画像科学	小林範久教授		22年度
千葉県立長生高等学校	高校生	11月5日に模擬授業(SSH特別講義)を実施	共生応用化学	上川直文 准教授		22年度
富士見高校	中学生, 高校生	6月22日に模擬講義(中3, 高1, 高2, 48名)を実施。	共生応用化学	一國伸之 准教授		22年度
銚子市立銚子高校。大学模擬授業	高校2年生	10月14日に50分の講義を2回行った。	共生応用化学	一國伸之 准教授		22年度
専修大学松戸高校	高校生	6月25日に個別相談会(高3(376名)の23名)に対応。	共生応用化学	赤染元浩 准教授		22年度
都立東高校	高校生	9月27日に模擬講義(高2, 高3, 20名)を実施。	共生応用化学	佐藤智司 教授		22年度

私立麗澤高校	高校生	10月7日に模擬講義(高2 30名)を実施。	共生応用化学	谷口竜王 准教授		22年度
千葉県立船橋高等学校 スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 課題学習 出張指導	高校生	07/06, 07/29, 9/21, 10/20, 11/30に船橋高校にて、千葉県立船橋高校スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の課題学習に関して出張指導(SS出張指導)を行った。また、9/29に千葉大学において、課題学習に関する実験支援(電子顕微鏡観察, 赤外分光)	共生応用化学	桑折道成 助教 小島隆 助教	http://www.chiba-c.ed.jp/funako/22nendo/ris	22年度
埼玉県立春日部高等学校の大学訪問; 模擬講義	高校生	千葉大学を訪問した高校生80名に対して、模擬講義をおこなった。1時間目は卒業研究発表会での発表を2件披露し、質問を受けた。2時間目は理系の英語の重要性を理解し、アポイントメント「化学英語」の講義を進めた。	共生応用化学	斎藤恭一 教授		22年度
埼玉県立春日部高等学校; 進路講演会	高校生	高校1年生全員(約350名)に対して「大学での最先端研究」を紹介した。高校での学習やクラブ活動の大切さを説明した。	共生応用化学	斎藤恭一 教授		22年度
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)市川学園市川高等学校	高校生	SSH事業の一つとして、千葉大学にて実験講義・実習を行った	ナノサイエンス	坂本一之 准教授		22年度-進行中
サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)千葉県立千葉高校	高校生	2010年7月3日に、SPP事業の一つとして、千葉大学にてナノサイエンスに関する講義と実験実習を行った	ナノサイエンス	上野信雄 教授 山本和貫 准教授 奥平幸司 准教授		22年度
千葉県立千葉高等学校 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)	高校生	SPP物質工学講座	ナノサイエンス		http://www.ich.ed.jp/index.html	20年度-進行中
市川高校 高大連携	高校生	ナノサイエンスに関する講義	ナノサイエンス	坂本一之 准教授 奥平幸司 准教授	http://www.ichigaku.ac.jp/	22年度
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)千葉県立千葉高等学校(来校)	高校生	研究室で開講の「ナノテクノロジー入門: ナノテクって何?」なるタイトルで、ナノテクノロジーに関する講義(午前)と実習(午後)を行った。	ナノサイエンス	落合勇一 教授 青木伸之 准教授		15,16,20-22年度
夢ナビライブ2010 主要国公立大学・私立大学合同進学ガイダンス(主催:EBOMPAGE(後援:文部科学省)で、デザイン(心理学)についての模擬講義を行った	高校生・受験生・受験生全船	2010年7月15日(木)(14:45~15:15)に東京国際フォーラムにて開催された「夢ナビライブ2010 主要国公立大学・私立大学合同進学ガイダンス」(主催:EBOMPAGE(後援:文部科学省)で、デザイン(心理学)についての模擬講義を行った	デザイン	日比野治雄 教授	http://yumenavi.info/live/index.php	22年度
都立小松川高校	高校生	10月6日に模擬授業を実施	電気電子	小坏成一 教授		22年度
化学の最先端実験講座	1年を経過した中・高等・特別支援学校理科担当教	先端的な化学の研究を行っている大学と連携を図り、最新の研究成果を実験・実習を通して学ぶことにより、今後の中・高等学校の化学教育の一層の充実を図る。	共生応用化学	斎藤恭一 教授 佐藤智司 教授		22年度
化学の最先端実験研修	1年を経過した小・中・高等	先端的な化学の研究を行っている大学と連携を図り、最新の研究成果を実験・実習を通して学ぶことにより、今後の化学分野の教育の一層の充実を図る。	共生応用化学	斎藤恭一 教授 佐藤智司 教授		22年度
平成23年度						
千葉県立千葉高等学校SSH	千葉市教育	運営指導委員会委員長	ナノサイエンス	上野信雄 教授		23年度
千葉県立千葉高等学校	高校生	2011年8月2日(火) 特別講義「物質工学講座」を行う。	ナノサイエンス	上野信雄 教授		23年度
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)市川学園市川高等学校	高校生	2011年5月11日, 8月1日に、SSH事業の一つとして、千葉大学にて実験講義・実習を行った	ナノサイエンス	山本和貫 准教授, 坂本一之 准教授, 青木伸之 准教授, 野口裕 助教, 坂東弘之 助教		23年度
新潟県立長岡高等学校	高校生	2011年7月29日に、長岡高校にて出張講義と実験実習を行った	ナノサイエンス	坂本一之 准教授, 坂東弘之 助教		23年度
茨城県立牛久栄進高等学校	高校生	2011年10月5日に、模擬講義と研究室見学を行った	ナノサイエンス	坂東弘之 助教 他		23年度
東京都立科学技術高校	高校生	2011/9/30 大学見学会	機械	並木明夫 准教授		23年度
千葉県立船橋東高校	高校生	2011/10/26 模擬講義	機械	並木明夫 准教授		23年度
都立豊多摩高校	高校生	2011/10/27 模擬講義	機械	並木明夫 准教授		23年度
私立麗澤高校	高校生	10月6日に模擬講義(高2 31名)を実施。	機械	三神史彦 准教授		23年度
北海道札幌開成高等学校	高校生	北海道札幌開成高等学校おいての出前授業を行う。	先進科学センター	教務課 伊藤由香 専門職員	http://www.cfs.chiba-u.ac.jp/index.html	23年度
千葉大学教育学部附属中学校授業協力	児童生徒	2011年7月1日に、情報画像に関する授業、実習を行った	情報画像	黒岩真吾 教授 平井経太 助教		23年度
都立小松川高校	高校生	模擬講義(平成23年10月5日)	情報画像	関屋大雄 准教授		23年度
埼玉県立坂戸高校	高校生	模擬講義(平成22年6月1日)	画像科学	椎名達雄 准教授		23年度
千葉県立千葉西高校	高校生	学部・学科説明 (平成22年6月8日)	画像科学	尾松孝茂 教授		23年度
茨城県立水海道高校	高校生	学部説明・学科見学(平成22年7月6日)	画像科学	久下謙一 教授		23年度
千葉県立幕張総合高校	高校生	模擬講義(平成22年11月1日)	画像科学	宮本克彦 助教		23年度
都立三田高校	高校生	学部・学科説明 (平成22年11月8日)	画像科学	小林裕幸 教授		23年度
千葉県立八千代東高校	高校生	模擬講義(平成22年11月25日)	画像科学	椎名達雄 准教授		23年度
千葉県立八千代高校	高校生	模擬講義(平成22年12月15日)	画像科学	椎名達雄 准教授		23年度
千葉県立東金高校	高校生	模擬講義(平成22年12月20日)	画像科学	中村一希 助教		23年度
千葉県立東金高校	高校生	模擬講義(平成22年12月20日)	建築学科	高橋徹 教授		23年度
栃木県立栃木高校	高校生	模擬講義(平成23年3月18日)	画像科学	宮川信一 准教授		23年度
埼玉県立春日部高等学校の大学訪問; 模擬	高校生	6月9日に、春日部高校2年生80名と先生4名が大学を訪問した。キャンパスツアーと模擬講義(2時間)を実施した	共生応用化学	斎藤恭一 教授		23年度
埼玉県立春日部高等学校; 進路講演会	高校生	10月5日に、春日部高校1年生全員に、「理系こそ英語と国語、文系こそ理科」という題目で講演を実施した	共生応用化学	斎藤恭一 教授		23年度
千葉県立長生高等学校; 進路説明会	保護者	10月15日に、長生高校の保護者に「国立大学で学ぶ意義」という題目で講演を実施した	共生応用化学	斎藤恭一 教授		23年度
栃木県立栃木高校	高校生	模擬講義(平成23年3月22日)	都市環境システム	中谷正人 客員教授		23年度
大宮開成高等学校	高校生	2011年12月14日に、模擬講義と研究室見学を行った	ナノサイエンス	坂本一之 准教授 他		23年度
千葉県立船橋高等学校 スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 課題学習 出張指導	高校生	5/31,7/5,10/11,11/15,12/6に船橋高校にて、千葉県立船橋高校スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の課題学習に関して出張指導(SS出張指導)を行った。	共生応用化学	桑折道清 助教 山田泰弘 助教	http://www.chiba-c.ed.jp/funako/index1.html	23年度

千葉県立船橋高等学校 スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 特別講座(科学分野)	高校生	6/5に千葉県立船橋高校スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の第5回特別講座(化学分野)に関して、「化学で光を作る」と題して出張実験指導(SS出張指導)を船橋高校にて行った。	共生応用化学	坂本昌巳 教授 唐津孝 教授	http://www.chiba-c.ed.jp/funako/23nendo/risuuka/ssh/index.html	23年度
千葉県立船橋高等学校	高校生	2011.1.26に船橋高校にて模擬講義を行った。	共生応用化学	桑折道済 助教		23年度
千葉県立船橋高等学校	高校生	2012.1.20に船橋高校にて模擬講義を行った。	共生応用化学	小島隆 助教		23年度
県立長生高校	高校生	模擬講義(平成23年11月4日)	メディカル	羽石秀昭 教授		23年度
千葉市立千葉高校	高校生	模擬講義(平成23年10月17日)	メディカル	五十嵐辰男 教授		23年度
県立船橋高校	高校生	外国人研究者による模擬講義(平成24年2月27日)	メディカル	五十嵐辰男 教授		23年度
専大松戸高校	高校生	進学相談会(6月24日)	メディカル	中口俊哉 准教授		23年度
都立戸山高校2年生	高校生	千葉大学見学(7月8日)	メディカル	中村亮一 准教授		23年度
東葛飾高校	高校生	千葉大学見学(7月12日)	メディカル	山口匡 准教授		23年度
全国国公立・有名私立大相談会2011	高校生	展示・説明(7月31日)	メディカル	伊藤公一 教授		23年度
主要大学説明会2011	高校生	展示・説明(8月28日)	メディカル	愈文偉 教授		23年度
駿台予備校千葉校進学説明会	高校生	学部別説明会(10月1日)	メディカル	中村亮一 准教授		23年度
駿台予備校津田沼校進学説明会	高校生	学部別説明会(10月8日)	メディカル	五十嵐辰男 教授		23年度
国府台高校	高校生	大学見学(11月2日)	メディカル	中口俊哉 准教授		23年度
平成24年度						
県立佐倉高校	高校生	模擬講義(平成24年5月7日)	メディカル	羽石秀昭 教授		24年度
(SSH講演会)千葉県立船橋高校	高校生	5月18日「スーパーコンピュータを20万円で創る ～夢を持てることは一つの才能であり、夢を追い続けることは一つの勇気である～」	電気電子	伊藤智義教授		24年度
宮城県立仙台第一高等学校	高校生	2012年7月6日に高校生6名が研究室見学を訪れ対応した。	都市環境システム	塩田茂雄 教授		24年度
千葉大学教育学部附属中学校授業協力	児童生徒	2012年7月6日に、情報画像に関する授業、実習を行った	情報画像	眞鍋佳嗣 教授 矢田紀子 助教		24年度
千葉県立佐原高校	高校生	模擬講義(平成24年7月10日)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		24年度
大学学部研究会(東進ハイスクール主催、東京国際フォーラム)協力	中学生・高校生	2012年8月22日に模擬講義(タイトル:デザインと心理学の融合—デザイン心理学のすすめ)を行なった(150名ほどの中高生が参加)。	デザイン	日比野治雄 教授	http://www.toshin.com/hs/event/daigaku_gakubutaiko	24年度
国立女性教育会館、日本学術会議「科学と社会委員会 科学力増進分科会」「科学者委員会 男女共同参画分科会」主催「女子中高生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～2012」	女子中高生	2012年8月10日に、ポスターセッションにて学会の研究内容を発表し、女子中高生に理系進路選択の面白さ・魅力を伝えた。	電気電子	大矢 浩代 助手	http://www.nwec.jp/jp/program/invite/2012/page03i.html	24年度
県立船橋高校	高校生	学部学科説明、質疑応答(平成24年5月31日)	メディカル	中口俊哉 准教授		24年度
専修大学松戸高校	高校生	相談会(ブース)(平成24年6月22日)	メディカル	山本悦治教授		24年度
県立東葛飾高校	高校生	学部案内、授業参観、講義聴講、模擬講義、研究室訪問(平成24年7月12日)	メディカル	川村和也助教		24年度
全国国公立・有名私立大相談会	高校生	合同説明会(ブース)(平成24年7月16日)	メディカル	愈文偉教授		24年度
全国国公立・有名私立大相談会	高校生	合同説明会(ブース)(平成24年7月29日)	メディカル	伊藤公一教授		24年度
県立国府台高校	高校生	学部概要説明、模擬講義、学部見学等(平成24年7月29日)	全学科			24年度
県立長生高校	高校生	模擬講義(平成24年11月1日)	メディカル	五十嵐辰男教授		24年度
市立千葉高校	高校生	模擬講義(平成24年11月12日)	メディカル	岩坂正和准教授		24年度
県立宮城第一高校	高校生	模擬講義、研究室見学等(平成24年12月3日)	メディカル	中口俊哉 准教授		24年度
千葉市立千葉高等学校SSH	千葉市教育	運営指導委員会・委員長	ナノサイエンス	上野信雄 教授		24年度
千葉市立千葉高等学校SSH	高校生	千葉大学実験講座@ナノサイエンス学科のコーディネート	ナノサイエンス	上野信雄 教授		24年度
千葉市立千葉高等学校SSH	高校生	2012年6月17日(日):物質工学講座「物質科学とナノサイエンス」およびG-COE見学	ナノサイエンス	上野信雄 教授		24年度
SSH理科授業研究会(全国)@市川高校	全国SSH教	2012年10月13日(土):特別講演/教育改革:高校理科教育に期待する-世界の中の日本	ナノサイエンス	上野信雄 教授		24年度
千葉市科学館	一般市民	講演:センウム吸着繊維ガガ(平成24年10月6日)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		24年度
埼玉県立春日部高校	高校生	出張講義(平成24年10月10日)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		24年度
都立豊多摩高校	高校生	2012/10/17 模擬講義	機械	並木明夫 准教授		24年度
埼玉県立春日部高校スーパーサイエンスハ	高校生	研究室見学(平成24年11月14日)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		24年度
埼玉県立春日部高校スーパーサイエンスハ	高校生	生徒の研究発表会での評価(平成25年2月9日)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		24年度
千葉県立長生高校	保護者	進路説明会(平成24年10月20日)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		24年度
市立千葉高等学校スーパーサイエンスハイスクール(SSH)講座	高校生	SSH事業の一つとして、千葉大学にて講義・実習を行った(平成24年7月28日、29日)	共生応用化学	小島 隆 准教授 桑折道済 助教 山田泰弘 助教		24年度
千葉県立船橋高等学校 スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 課題学習 出張指導	高校生	6/12,7/3,10/9(山田のみ),11/13,12/4に船橋高校にて、千葉県立船橋高校スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の課題学習に関して出張指導(SS出張指導)を行った。	共生応用化学	原 孝佳 助教 山田泰弘 助教	http://www.chiba-c.ed.jp/funako/index1.html	24年度
化学の最先端実験研修	1年を経過した小・中・高等・特別支援学校教員	最先端的な化学の研究を行っている大学と連携を図り、最新の研究成果を実験・実習を通して学ぶことにより、今後の化学分野の教育の一層の充実を図る(平成24年8月22日)	共生応用化学、画像科学	佐藤智司 教授 星野勝義 教授 松本祥治 准教授 小島 隆 准教授 原 孝佳 助教		24年度
茨城高等学校・中学校テーマ別課外授業	中学生・高校生	模擬講義(8月9日)	共生応用化学	星 永宏 教授		24年度
東京都立多摩科学技術高等学校(SSH指定)	高校生	科学技術科IT領域卒業研究(11月16日)	都市環境システム	荒井幸代 准教授		24年度
千葉県立君津高校	高校生	2012年12月17日に模擬講義を実施	情報画像	関屋大雄 准教授		24年度
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)市川学園市川高等学校	高校生	2012年5月16日、18日に、高大連携の一つとして、千葉大学にて実験・実習を行った	ナノサイエンス	山本和貴 准教授、 坂本一之 准教授、 青木伸之 准教授、 野口裕 助教、坂東弘之 助教、佐久間		24年度
平成25年度						
県立佐倉高校	高校生	模擬講義(平成25年6月19日)	メディカル	中村亮一准教授		25年度
市立千葉高校	高校生	模擬講義(平成25年11月27日)	メディカル	中村亮一准教授		25年度
都立戸山高校	高校生	大学見学会(平成25年7月10日)	メディカル	中村亮一准教授		25年度
市立千葉高校	高校生	学部・学科説明会(平成25年6月3日)	メディカル	岩坂正和准教授		25年度
埼玉県立春日部高等学校	高校生	2013年6月13日、高校2年生の大学訪問(模擬講義、キャンパスツアー、研究室見学)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		25年度

埼玉県立春日部高等学校SSH	高校生	2013年6月29日, SSH運営委員会(委員長)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		25年度
埼玉県立春日部高等学校	PTA	2013年7月5日, PTA約80名の大学訪問(進路講演会, キャンパスツアー, 研究室見学)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		25年度
県立佐原高等学校	高校生	2013年7月10日, 模擬講義「放射性セシウム吸着繊維ガカの開発」	共生応用化学	斎藤恭一 教授		25年度
埼玉県立春日部高等学校	高校生	2013年10月9日, 進路講演会「理系こそ英語と国語, 文系こそ理科と数学」	共生応用化学	斎藤恭一 教授		25年度
県立船橋高等学校SSH	高校生	2013年11月20日, 講演「理系英語の学習法」	共生応用化学	斎藤恭一 教授		25年度
群馬県立前橋女子高校SSH	高校生	2014年1月29日, 講演「理系英語の学習法(日本語文も書けないのに英語文をかけるはずもない)」	共生応用化学	斎藤恭一 教授		25年度
埼玉県立春日部高等学校SSH	高校生	2014年2月8日, SSH研究発表会とSSH運営委員会(委員長)	共生応用化学	斎藤恭一 教授		25年度
千葉県立船橋高等学校 スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 課題学習 出張指導	高校生	5/21, 7/2, 9/3, 10/22, 11/26に船橋高校にて, 千葉県立船橋高校スーパーサイエンスハイスクール(SSH) の課題研究に関して出張指導(SS出張指導)を行った。	共生応用化学	原 孝佳 助教 天野佳正 助教	http://www.chiba-c.ed.jp/funako/index1.html	25年度
千葉大学教育学部附属中学校授業協力	児童生徒	2013年7月5日に, 情報画像に関する授業, 実習を行った	情報画像	黒岩真吾 教授 堀内靖雄 准教授 関屋大雄 准教授 眞鍋佳嗣 教授		25年度
佐原高校	高校生	研究室見学(2013年8月2日)	情報画像	矢口博久 教授 溝上陽子 助教		25年度
千葉県立君津高校	高校生	2013年12月17日に模擬講義を実施	情報画像	津村徳道 准教授		25年度
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)市川学園市川高等学校	高校生	2013年5月14日, 15日に, 高大連携の一つとして, 千葉大学にて実験・実習を行った	ナノサイエンス	山本和貴 准教授, 坂本一之 准教授, 青木伸之 准教授, 野口裕 助教, 坂東弘之 助教, 中山泰		25年度
千葉市立千葉高校SSH	高校生	2013年6月15日(土)に「ナノテクノロジー講座」と題して講演と実習を行った。	ナノサイエンス学科	青木伸之 准教授		25年度
米国・ライス大学のナノジャパン学生受け入れ	大学生	6月2日~7月27日まで, ライス大学からの「ナノジャパンプログラム」によるサマーインターンシップ学生1名を受け入れて研究実習を行った。	ナノサイエンス学科	青木伸之 准教授		25年度
私立大妻高校	高校生	2013年11月27日に模擬講義を実施	機械	菅原路子 特任准教授		25年度
平成26年度						
東京都立小松川高等学校	高校生	模擬講義(平成26年10月8日)	メディカル	中村亮一 准教授		26年度
県立佐倉高校	高校生	模擬講義(平成26年6月17日)	メディカル	五十嵐辰男 教授		26年度
市立千葉高校	高校生	模擬講義(平成26年11月18日)	メディカル	中村亮一 准教授		26年度
芝浦工大附属柏高校	高校生	模擬講義(平成26年11月11日)	メディカル	羽石秀昭 教授		26年度
全国国公立・有名私大相談会	高校生	合同説明会(ブース)(平成26年7月27日)	メディカル	伊藤公一 教授		26年度
都立戸山高校	高校生	大学見学会(平成26年7月9日)	機械	並木明夫 准教授		26年度